

令和 6 年度

宇都宮市

学習内容定着度調査

学習と生活についてのアンケート

実施結果報告書

令和 7 年 3 月

宇都宮市教育委員会

令和6年度
宇都宮市
学習内容定着度調査
学習と生活についてのアンケート
実施結果報告書

<目次>

はじめに	2
1. 調査の概要	3
(1) 学習内容定着度調査	3
(2) 学習と生活についてのアンケート	5
[学習内容定着度調査 実施結果報告]	
2. 「学習内容定着度調査」結果の状況	8
(1) 各学年の結果概要	8
(2) 小学校第6学年結果分析	10
(3) 中学校第3学年結果分析	18
(4) 指導の工夫・改善	28
[学習と生活についてのアンケート 実施結果報告]	
3. 「学習と生活についてのアンケート」結果の状況	38
(1) 設問別肯定的回答率一覧	38
(2) 設問のカテゴリー別に見られる傾向	44
[正答率とアンケート結果の一体的分析 結果報告]	
4. 正答率と関連のある指導の分析	64
(1) 小学校第6学年結果分析	64
(2) 中学校第3学年結果分析	67
(3) 考察及び指導の工夫・改善策	70
5. 国, 県, 市の学力調査における本市児童生徒の学力の状況 ..	72

はじめに

「学習内容定着度調査」は、本市の児童生徒の学習内容の定着度を的確に把握し、学校における学習指導の工夫・改善を図るため、平成 15 年度に開始し、今年度で 22 年目となる。

開始から平成 19 年度までの 5 年間においては、小 3～小 6 の国語と算数、中 1～中 3 の国語、数学、英語について、基礎的・基本的な学習内容を中心に、原則として同一問題による調査を実施し、当該年度における領域別、観点別、設問別の正答率による分析と前年度の正答率との比較による分析を行うことで学習内容の定着状況を明らかにし、指導の工夫・改善を図ってきた。

平成 20～23 年度の 4 年間においては、児童生徒に調査問題を返却することで調査問題を使った見直しや復習を行うことができるようにし、児童生徒一人一人の学習内容の一層の定着を図るため、年度により調査問題を変更するとともに前年度の正答率との比較を行わないこととして調査を実施してきた。

平成 24・25 年度においては、学習指導要領の改訂や小中一貫教育の全市実施を踏まえて、思考力・判断力・表現力等の定着状況を把握するための活用問題や、小 5～中 3 の 5 学年に社会と理科を加えて実施したことで、総合的な学力について多面的、多角的に把握できるようにした。

平成 26 年度からは、栃木県教育委員会による学力調査が実施されたことを踏まえて対象学年を小 6 と中 3 の 2 学年に精選し、それぞれ出題範囲を広げて調査を実施することで、小・中学校のまとめとしての学力の状況を把握できるようにした。

今後とも、基礎・活用別、領域別、観点別、設問別の正答率による分析をもとに指導改善の方策を見だし、市や各学校の実態に応じた指導の一層の充実を図れるよう努める。

「学習と生活についてのアンケート」については、教科学力の背景にある学習や生活の状況についての実態を把握するため、平成 18 年度に開始し、今年度で 19 年目となる。

小 1～中 3 の児童生徒について、学習に対する意欲や学校や家庭での取組、生活状況等についての調査を実施し、学校教育推進計画との関連などの視点から、学年間、年度間の肯定的回答の割合の比較をもとにした分析を行ってきた。また、本調査結果と「学習内容定着度調査」の結果を併せて分析することで、学習に対する意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにし、学力向上に向けた指導の工夫・改善を図ってきた。

今後とも、肯定的回答の割合による分析等を行いながら児童生徒の発達の段階による特徴を明らかにするとともに、「学習内容定着度調査」の正答率等との相関及び考察を通して学力向上を図るための取組を見だし、小・中学校が連携した児童生徒の育成に向けて活用できるよう努める。

1. 調査の概要

(1) 学習内容定着度調査

1) 目的

- ① 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、基礎的・基本的な内容に併せ、思考力・判断力・表現力等を問う内容について、児童生徒の学習状況を的確に把握し、一人一人に応じた指導の充実を図る。
- ② 各学校が市全体の結果を踏まえた上で、自校の結果を分析することにより、自校の課題を明確にするとともに、指導内容の重点化や指導方法の工夫・改善を図る。
- ③ 調査結果をもとに、児童生徒の学習到達度を明確にし、市の教育行政施策に生かす。

2) 調査対象

宇都宮市内の全市立小学校第6学年の児童及び中学校第3学年の生徒

3) 調査内容

① 教科及び調査時間

小学校第6学年：国語・社会・算数・理科（各40分）

中学校第3学年：国語・社会・数学・理科・英語（各45分）

② 出題の基本方針

ア 学習指導要領の目標、内容に照らした学習の実現状況を、教科全体及び基礎・活用別、領域別、観点別に把握できる問題とする。

イ 各教科とも、基礎的・基本的な内容の問題に併せ、思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題する。

ウ 出題の範囲は、小学校第6学年については、原則として小学校第5学年の初めから小学校第6学年の11月までの学習内容、中学校第3学年については、原則として中学校第1学年の初めから中学校第3学年の11月までの学習内容とする。

エ 問題の分量は、児童生徒が調査時間内にすべての問題にひと通り取り組むことができるように留意する。

4) 実施日

令和6年12月11日（水）

5) 実施人数

	全体	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校第6学年	4,270	3,979	4,000	3,990	4,013	—
中学校第3学年	3,833	3,609	3,607	3,605	3,615	3,615
小中学校計	8,103	7,588	7,607	7,595	7,628	3,615

6) 分析の方針

- ① 本調査は学習指導要領の内容について、児童生徒の学習到達度を測るものである。個人あるいは集団の「正答率」により、各学年で求められる学習指導要領の内容の定着度を見ることができる。分析にあたっては、集団における「正答率」を用いることとする。

なお、前年度に引き続き、今年度も調査問題を変更したため、前年度の正答率との比較は行わず、当該年度における基礎・活用別、領域別、観点別の正答率による分析を中心とする。

- ② 設問別分析においては、以下のような観点で行っている。

- ・ 正答率の低い設問（参考値を下回る設問）
- ・ 特定の誤答が集中している設問
- ・ 無解答の多い設問

7) 調査結果の活用

- ① 本市においては、基礎・活用別、領域別、観点別の学習内容の定着度を分析することにより、本市の教育及び事業の成果や課題を把握し、その改善を図る。
- ② 各学校においては、自校の学習内容の定着度を分析・把握することにより、学習指導の工夫・改善を図り、次年度の指導計画や授業等に役立てる。
- ③ 授業や家庭学習などにおいて、年度内に調査問題などを使った復習を行い、各児童生徒の学習内容の確実な定着を図る。

※ データの見方等で注意すべき点について

- ① 「領域別」の表記について

学習指導要領において領域による内容構成を行っていない教科についても、内容のまとまりを「領域別」と統一して表記している。

- ② 正答率について

正答率とは、設問ごとに正答した児童生徒の割合を示しており、記述式問題においては、準正答は0.5ポイントとして算出している。なお、教科全体及び基礎・活用別、領域別、観点別の正答率は、該当する設問の正答率の平均値である。

- ③ 参考値について

参考値とは、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率（1種目あたり標本数約10,000人～58,000人）であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

- ④ 活用問題の正答率度数分布について

正答率度数分布のグラフは正答率10%ごとに児童生徒の割合を示すものである。本調査における今年度の活用問題の設問数は各教科8～11問である。設問数が8問の場合は、正答率40%～50%未満の児童生徒の割合が極端に低くなり、結果の読み取りに注意が必要である。そのため、設問数が8問の場合はその旨を明示する。

（２）学習と生活についてのアンケート

１）目的

- ① 児童生徒の学習に対する意欲や取組，生活状況や食事の様子等，学力の背景となる実態を把握する。
- ② 本調査結果と学習内容定着度調査の結果を併せて分析し，児童生徒の意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにすることにより，より一層の学力向上を図る。

２）調査対象

宇都宮市内の全市立小学校及び中学校の児童生徒

３）調査内容

- ① 質問数及び調査時間
 - ア 質問数
小学校：90 から 140 項目程度（学年に応じて）
中学校：140 項目程度
 - イ 実施時間 40 分
- ② 主な質問内容
 - ア 学校や家庭での学習について
 - イ 毎日の生活について
 - ウ 健康や食事について

４）実施日

令和6年12月9日（月）～11日（水）のいずれか

５）実施人数

小学校						
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小学校計
3,894	4,140	4,221	4,356	4,157	4,261	25,029

中学校			
第1学年	第2学年	第3学年	中学校計
3,736	3,743	3,753	11,232

小中学校計
36,261

6) 分析の方針

- ① 分析にあたっては、集団における「肯定的回答率」を用いることとする。
- ② 学年間や年度間の比較を通して、児童生徒の学習に対する意欲や取組、生活状況の傾向を把握するとともに、学力向上に向けてどのようなことを日常的、継続的に指導していくことが必要であるのかを把握できるようにするため、以下のような観点で分析を行っている。
 - ・ 全学年及び今年度、昨年度の状況 ⇒「設問のカテゴリー別に見られる傾向」として記載
 - ・ 学習内容定着度調査の結果との関連⇒「正答率と相関のある指導の分析」、「正答率と相関のある学校の取組の分析」として記載

7) 調査結果の活用

- ① 児童生徒の学習への意識や生活の実態に基づき、学習指導、児童生徒指導、食や健康・体力に関わる指導の充実を図る。
- ② 学習内容の定着状況と相関の高い学習習慣や生活習慣等を把握することにより、これまでの学習指導を見直し、指導の工夫・改善を図るとともに、家庭と連携した学力向上への取組を推進する。
- ③ 本調査の結果を、学校教育推進計画等の達成状況の検証にも活用し、市及び学校における取組の充実・改善を図る。

※ 用語について

- ・ 「肯定的回答率」

各設問に対して、「はい」または「とてもあてはまる」、「まああてはまる」などと回答した児童生徒の割合(%)のことをいう。(本調査においては、小学校1, 2年生では、「はい」、「いいえ」の2つの選択肢から、小学校3年生以上では、「とてもあてはまる」、「まああてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」などの4つの選択肢からあてはまるものを回答している。)

- ・ A層, B層, C層, D層

今回の「学習内容定着度調査」結果において、正答率によって児童生徒を25%刻みの層に分け、上位から4分の1をA層、4分の1から2分の1までをB層、2分の1から4分の3までをC層、4分の3以下をD層としている。

- ・ 「A層-D層」

A層(正答率高)とD層(正答率低)の肯定的回答率または平均値の差。各層の児童生徒の学習や生活への意識や取組の傾向を把握し、指導の工夫・改善を図るための参考として活用することが期待できる。

学習内容定着度調査

実 施 結 果 報 告

2. 「学習内容定着度調査」結果の状況

(1) 各学年の結果概要

小 学 校 第 6 学 年

- 各教科の正答率は、社会、算数、理科が参考値をそれぞれ 1.9 ポイント、2.1 ポイント、3.3 ポイント上回っており、国語が 0.7 ポイント下回っている。
- 基礎・活用別に正答率を参考値と比較すると、基礎問題は、社会、算数、理科が参考値をそれぞれ 2.1 ポイント、0.7 ポイント、3.7 ポイント上回っており、国語が 0.6 ポイント下回っている。

活用問題は、社会、算数、理科が参考値をそれぞれ 1.6 ポイント、6.0 ポイント、2.0 ポイント上回っており、国語が 0.9 ポイント下回っている。

社会、算数、理科は、基礎問題、活用問題ともに参考値を上回っている。

1) 正答率

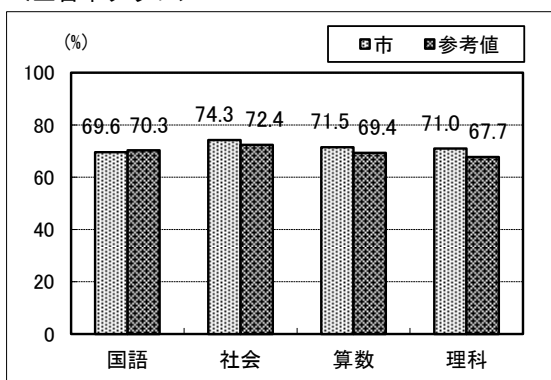
(%)

	国語	社会	算数	理科
宇都宮市	69.6	74.3	71.5	71.0
参考値	70.3	72.4	69.4	67.7

※参考値について：

他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

<正答率グラフ>

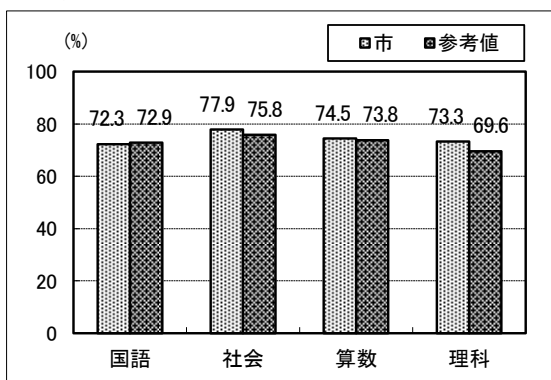


2) 基礎 / 活用別正答率

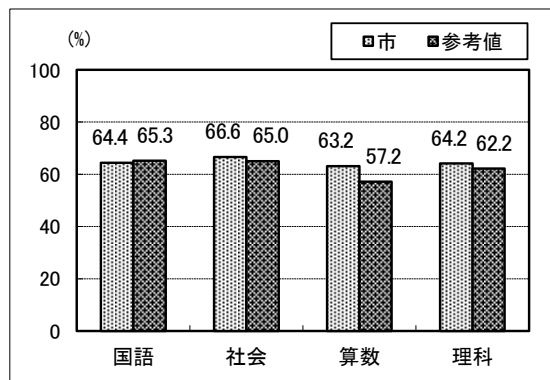
(%)

	国語		社会		算数		理科	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
宇都宮市	72.3	64.4	77.9	66.6	74.5	63.2	73.3	64.2
参考値	72.9	65.3	75.8	65.0	73.8	57.2	69.6	62.2

<基礎グラフ>



<活用グラフ>



中学校第3学年

- 各教科の正答率は、すべての教科で参考値を 1.7～8.6 ポイント上回っており、社会が最も大きく上回っている。
- 基礎・活用別に正答率を参考値と比較すると、基礎問題は、国語、社会、数学、英語が参考値をそれぞれ 7.9 ポイント、7.9 ポイント、4.6 ポイント、6.4 ポイント上回っており、理科が 0.4 ポイント下回っている。
活用問題は、すべての教科で参考値を 6.2～11.8 ポイント上回っており、数学が最も大きく上回っている。
国語、社会、数学、英語は、基礎問題、活用問題ともに参考値を上回っている。

1) 正答率

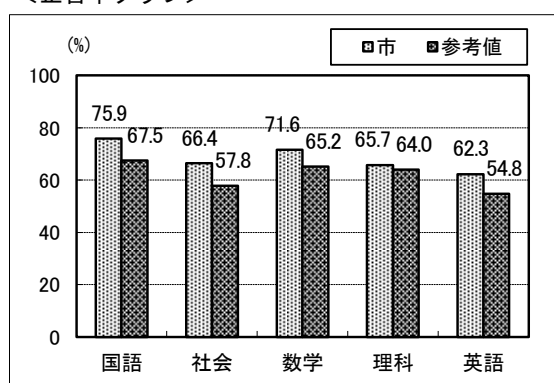
(%)

	国語	社会	数学	理科	英語
宇都宮市	75.9	66.4	71.6	65.7	62.3
参考値	67.5	57.8	65.2	64.0	54.8

※参考値について：

他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

<正答率グラフ>

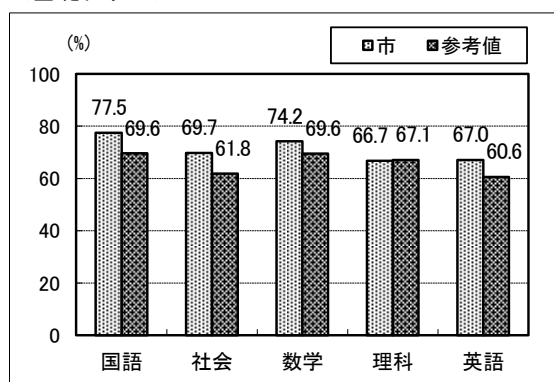


2) 基礎 / 活用別正答率

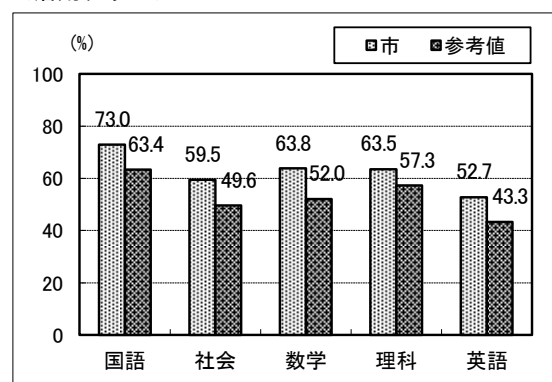
(%)

	国語		社会		数学		理科		英語	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
宇都宮市	77.5	73.0	69.7	59.5	74.2	63.8	66.7	63.5	67.0	52.7
参考値	69.6	63.4	61.8	49.6	69.6	52.0	67.1	57.3	60.6	43.3

<基礎グラフ>



<活用グラフ>



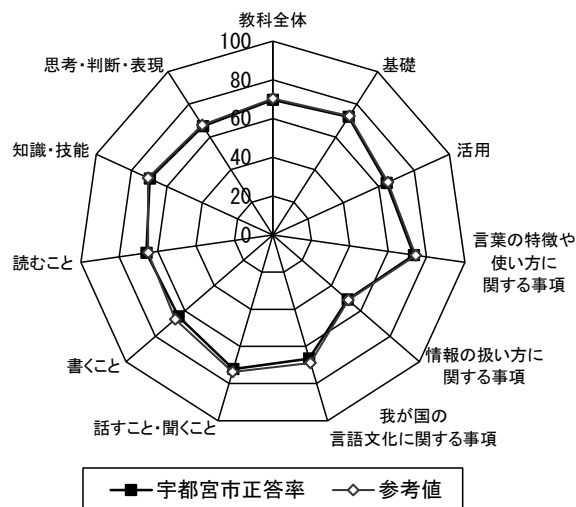
(2) 小学校第6学年結果分析

1) 小学校第6学年 国語

【カテゴリー別正答率】 (%)

		宇都宮市 正答率	参考値
教科全体		69.6	70.3
基礎 活用 別・	基礎	72.3	72.9
	活用	64.4	65.3
領域 別	言葉の特徴や使いに関する事項	73.5	74.4
	情報の扱いに関する事項	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	72.3	73.7
	書くこと	64.3	66.6
	読むこと	65.8	64.9
観点 別	知識・技能	69.8	70.8
	思考・判断・表現	66.5	67.3

実施人数 3,979人



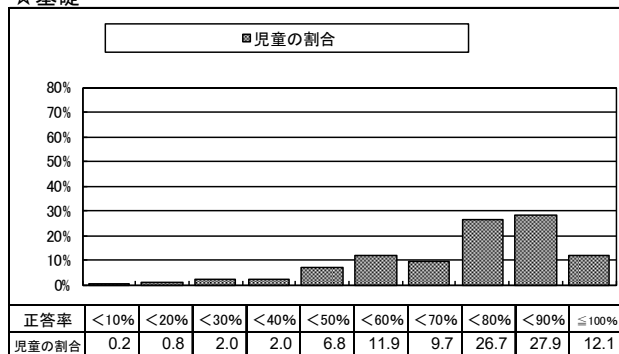
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

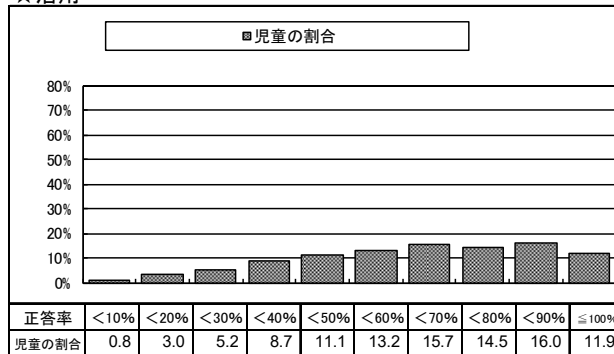
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は0.6ポイント、活用問題は0.9ポイント下回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「読むこと」(+0.9ポイント)。下回っている領域は、「我が国の言語文化に関する事項」(-2.3ポイント)、「書くこと」(-2.3ポイント)、「話すこと・聞くこと」(-1.4ポイント)、「言葉の特徴や使いに関する事項」(-0.9ポイント)、「情報の扱いに関する事項」(-0.5ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は1.0ポイント、「思考・判断・表現」は0.8ポイント下回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は40.0%，正答率が50%未満の児童の割合は11.8%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は71.3%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成										宇都宮市 正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・活用	領域							観点				
						方 言 に 関 する 事 項	言 葉 の 特 徴 や 使 い	す る 事 項	情 報 の 扱 い 方 に 関 する 事 項	に 関 する 事 項	と 話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 識 ・ 技 能			思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
1	(1)		選択	話の内容を捉えている。	基礎					☆				◎	93.5	94.3	
	(2)		選択	意図に応じて、質問を工夫している。	基礎					☆				◎	77.0	78.7	
	(3)		記述	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。	活用					☆				◎	46.4	48.0	
2	(1)	①	短答	第6学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	基礎	☆							◎		94.1	94.4	
		②	短答		基礎	☆						◎		84.3	84.7		
		③	短答		基礎	☆						◎		97.0	93.6		
	(2)	①	短答	第5学年に配当されている漢字を正しく書いている。	基礎	☆						◎		80.4	87.2		
		②	短答		基礎	☆						◎		86.8	87.2		
		③	短答		基礎	☆						◎		71.5	71.0		
3	(1)		選択	三字の熟語の成り立ちについて理解している。	基礎	☆							◎		68.6	63.4	
	(2)		選択	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	活用	☆							◎		89.1	88.4	
	(3)		選択	敬語について理解し、正しく使っている。	基礎	☆							◎		22.2	21.5	
	(4)		短答	文と文との接続の関係を理解している。	活用	☆							◎		51.3	56.6	
	(5)		選択	語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している。	基礎				☆				◎		66.5	68.8	
4	(1)		選択	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	基礎							☆		◎	75.2	74.3	
	(2)		選択	人物像を具体的に想像している。	基礎							☆		◎	85.9	84.4	
	(3)		選択	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	活用							☆		◎	88.3	86.6	
5	(1)		選択	文章全体の構成を捉えて、要旨を把握している。	基礎							☆		◎	35.3	32.8	
	(2)		選択	叙述を基に文章の内容を捉えている。	基礎							☆		◎	59.6	59.4	
	(3)		短答	情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している。	活用		☆					☆	◎	◎	50.7	51.7	
6	(1)		選択	目的や意図に応じて、書き表し方を工夫している。	活用							☆		◎	70.5	72.3	
	(2)		記述	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	活用		☆					☆		◎	◎	51.3	51.3
7			記述	指定された長さで文章を書いている。	基礎							☆		◎	68.5	72.5	
			記述	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	基礎	☆						☆		◎	◎	63.2	71.0
			記述	自分の意見とその理由を明確にして書いている。	活用							☆		◎		85.2	81.6
			記述	予想される反論とそれに対する意見を書いている。	活用							☆		◎		47.1	51.0

◆設問別分析

・大問1 (3)「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える」：正答率 46.4%

インタビューの内容を聞き取り、経験の長い職人が若い職人の指導を行う二つの目的を書く問題である。正答率は参考値を 1.6 ポイント下回った。無解答率は 6.2%であった。二つの目的のうち、一つのみを正しく書いている誤答が 34.7%見られた。インタビューの目的をしっかりと意識して話を聞くように指導することが大切である。

・大問3 (3)「敬語について理解し、正しく使う」：正答率 22.2%

傍線部の敬語の使い方が正しい文を選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低かった。誤答の選択肢②(「先輩」の行動を謙譲語で表す誤答)が 28.8%，選択肢④(「弟」の行動を尊敬語で表す誤答)が 46.9%と、正答の割合を上回った。日頃から敬語を適切に使った言葉遣いを心掛けるように指導し、敬語を相手や場面に応じて適切に使うことに慣れさせることが大切である。

・大問7「文章を書く」(予想される反論とそれに対する意見を書く)：正答率 47.1%

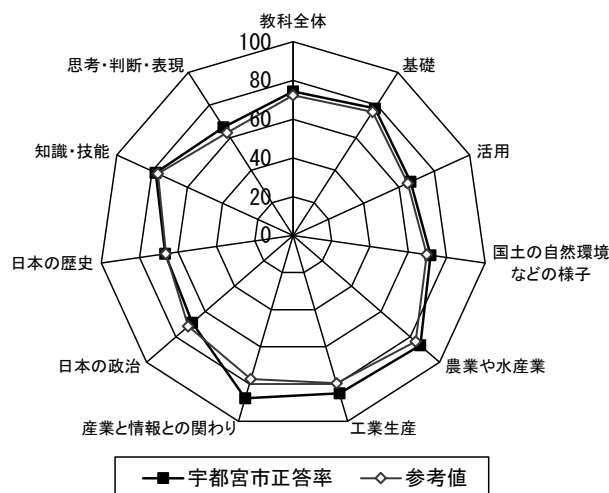
「予想される反論と、それに対する自分の考えを具体的に書く」という条件に対する正答率は、参考値を 3.9 ポイント下回った。無解答率は 8.3%であった。予想される反論を書いているが、それに対する自分の考えを具体的に書いていない誤答が 4.2%見られた。反論に対する自分の考えや事例を挙げることは、意見に説得力をもたせるために欠かせない。意見に説得力をもたせるためには、意見構築の着眼点のよさや、意見を支える根拠・理由、反論に対する自分の考えの妥当性、読み手の理解を助ける事例があることなどが重要である。自分の意見や理由、予想される反論と反論への対応をメモに書き出し、文章全体の構成や展開を考える活動を通して、説得力のある文章の書き方を身に付けさせることが大切である。

2) 小学校第6学年 社会

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	74.3	72.4
基礎	77.9	75.8
活用	66.6	65.0
領域別		
国土の自然環境などの様子	71.6	69.6
農業や水産業	86.7	83.7
工業生産	85.0	79.5
産業と情報との関わり	87.7	77.4
日本の政治	68.9	71.7
日本の歴史	66.7	66.3
観点別		
知識・技能	78.0	76.7
思考・判断・表現	66.4	63.1

実施人数 4,000人



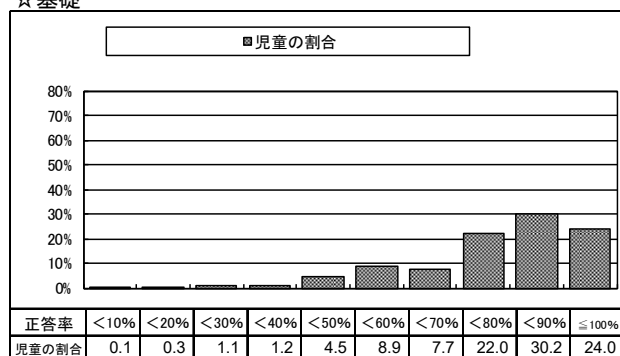
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

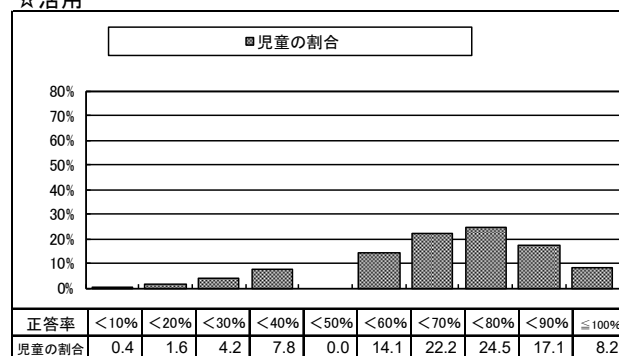
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は2.1ポイント、活用問題は1.6ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「産業と情報との関わり」(+10.3ポイント)、「工業生産」(+5.5ポイント)、「農業や水産業」(+3.0ポイント)、「国土の自然環境などの様子」(+2.0ポイント)、「日本の歴史」(+0.4ポイント)。下回っている領域は、「日本の政治」(-2.8ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は1.3ポイント、「思考・判断・表現」は3.3ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が8問と少ないため、正答率40%～50%未満の児童の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は54.2%、正答率が50%未満の児童の割合は7.2%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は86.1%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答 形式	出題のねらい	問題構成								宇都宮 市 正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・ 活用	領域						観点			
						どの 様子 の自然 環境な	国土 の農業 や水産 業	工業 生産	わり 産業 と情報 との関	日本 の政治	日本 の歴史	知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現		
1	(1)	①	選択	日本の周辺の海洋名について理解している。	基礎	☆						◎		87.3	86.1
		②	選択	オーストラリアの位置と国旗を理解している。	基礎	☆						◎		81.1	77.3
	(2)		短答	日本の主な地形(湖)の名称を理解している。	基礎	☆						◎		74.0	70.8
2	(1)		選択	米の生産の工程について理解している。	基礎		☆					◎		81.6	79.8
	(2)		選択	米の生産が盛んな地域についての理解をもとに、資料を判断している。	活用		☆						◎	90.5	84.2
	(3)		選択	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断している。	活用		☆						◎	88.2	87.0
3	(1)		選択	自動車の製造工程について理解している。	基礎			☆				◎		89.3	85.9
	(2)		選択	工業製品の分類を理解している。	基礎			☆				◎		92.2	90.0
	(3)		記述	日本の工業の特色について、資料をもとに表現している。	活用			☆					◎	73.4	62.7
4	(1)		選択	さまざまなメディアの特徴について理解している。	基礎				☆			◎		96.3	87.4
	(2)		選択	情報の発信と受信の注意点について考えている。	活用				☆				◎	79.1	67.3
5	(1)		選択	国内の林業が抱える課題について考えている。	活用	☆						◎		35.2	44.0
	(2)		選択	沖縄県での自然環境を守る取り組みについて考えている。	基礎	☆							◎	80.7	69.8
6	(1)		選択	天皇の地位について理解している。	基礎						☆	◎		63.0	63.7
	(2)		選択	国民の義務について理解している。	基礎						☆	◎		87.7	87.1
7	(1)		短答	内閣の働きについて理解している。	基礎						☆	◎		42.4	50.9
	(2)		選択	国民と国会と内閣の関係についての理解をもとに、図を読み取っている。	活用						☆	◎		82.6	85.1
8	(1)	①	選択	縄文時代の生活の様子について理解している。	基礎						☆	◎		84.4	84.2
		②	短答	大王について理解している。	基礎						☆	◎		50.5	51.5
	(2)		選択	源氏物語について理解している。	基礎						☆	◎		77.2	69.1
9	(1)		選択	源平の戦いの理解をもとに、資料を判断している。	活用						☆		◎	55.7	58.3
	(2)		記述	元との戦いについての理解をもとに、防塁について表現している。	活用						☆		◎	28.5	31.2
	(3)		選択	書院造の部屋の特徴について理解している。	基礎						☆	◎		85.7	87.4
10	(1)		選択	鉄砲の伝来について理解している。	基礎						☆	◎		87.7	83.9
	(2)		選択	江戸幕府の鎖国の窓口について理解している。	基礎						☆	◎		63.9	64.5

◆設問別分析

・大問5（1）「国内の林業が抱える課題について考える」：正答率 35.2%

国内の林業の課題としてあてはまらないものを選ぶ問題である。正答率は参考値を 8.8 ポイント下回った。誤答は各選択肢に分散しており、誤答の選択肢①が 10.2%，選択肢②が 26.6%，選択肢④が 27.9%見られた。授業では、「森林にはどのような働きがあるのだろう」などの問いを設けて、自然林や人工林の機能や、それぞれの育成や保護に関わる人の工夫や努力について、持続可能性の視点から調べたり、考えたりする学習活動を行うことが大切である。

・大問7（1）「内閣の働きについての理解」：正答率 42.4%

国の政治がどのように行われているかを表す図を見て、空欄にあてはまる言葉（内閣）を書く問題である。正答率は参考値を 8.5 ポイント下回った。無解答率は 10.1%であった。誤答には、「裁判所」と答えたものが 13.6%見られた。授業では、三権と対応する機関の言葉を繰り返し使うことができるよう、図示したり、説明したりする学習活動を行うことが大切である。

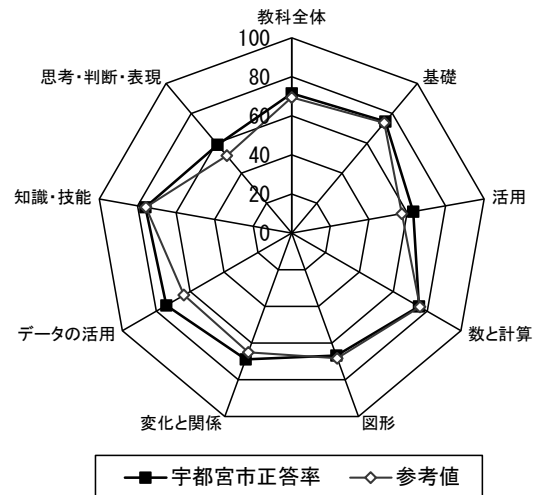
・大問9（2）「元との戦いについての理解をもとに、防塁について表現する」：正答率 28.5%

歴史人物カルタの【読み札】に書かれた人物と関わりの深い事柄の【絵札】を選び、選んだ理由を書く問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を 2.7 ポイント下回った。【絵札】は正しいが、理由が不十分な誤答が 23.1%，【絵札】のみが正しい誤答が 7.5%見られた。授業では、世の中の様子（元との戦い）、人物（北条時宗）の働き、代表的な文化遺産（絵詞や石塁など）に着目して問いを設けて調べたり、歴史の展開などを考えたりすることで、武士による政治が始まったことを理解できるように、問題解決的な学習活動を行うことが大切である。

3) 小学校第6学年 算数

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	71.5	69.4
活基 用礎 別・		
基礎	74.5	73.8
活用	63.2	57.2
領域 別		
数と計算	75.1	75.8
図形	66.8	68.3
変化と関係	68.8	65.0
データの活用	74.1	63.6
観点 別		
知識・技能	76.1	75.8
思考・判断・表現	59.0	51.7
実施人数 3,990人		



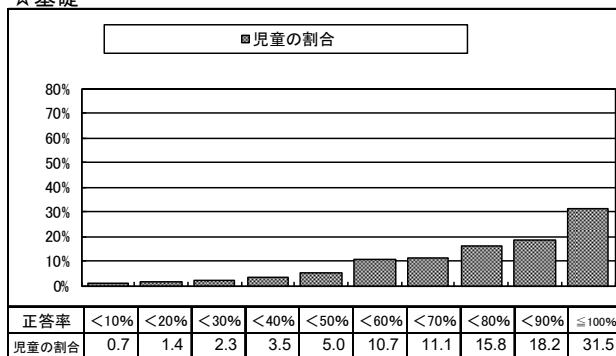
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

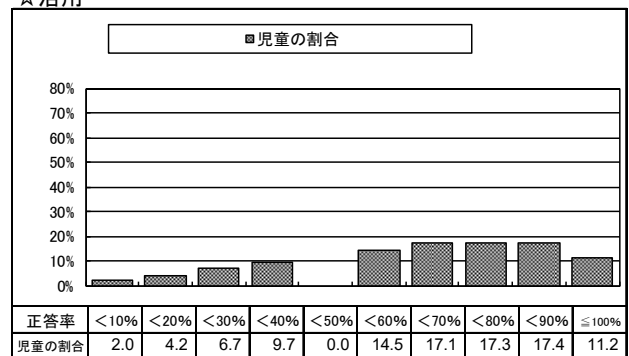
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は0.7ポイント、活用問題は6.0ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「データの活用」(+10.5ポイント)、「変化と関係」(+3.8ポイント)。下回っている領域は、「図形」(-1.5ポイント)、「数と計算」(-0.7ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は0.3ポイント、「思考・判断・表現」は7.3ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が8問と少ないため、正答率40%～50%未満の児童の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は49.7%、正答率が50%未満の児童の割合は12.9%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は77.5%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答形式	出題のねらい	問題構成						宇都宮市 正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・活用	領域				観点			
						数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能			思考・判断・表現
1	(1)		短答	小数第一位×小数第一位(純小数同士の乗法)の計算ができる。	基礎	☆				◎		66.1	73.6
	(2)		短答	小数第一位÷小数第一位＝小数第一位の計算ができる。	基礎	☆				◎		81.9	77.4
	(3)		短答	真分数＋真分数＝仮分数(帯分数)で、片方の分母にそろえる通分をする計算ができる。	基礎	☆				◎		73.6	79.4
	(4)		短答	分数×分数(約分あり)の計算ができる。	基礎	☆				◎		83.7	83.5
	(5)		短答	分数÷分数(約分あり)の計算ができる。	基礎	☆				◎		80.7	83.4
2	(1)		選択	図を見て、小数倍の文章問題(純小数倍、比較量を求める)を解くために乗法の立式をしている。	基礎	☆					◎	69.7	58.1
	(2)		選択	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	基礎	☆					◎	76.0	70.0
3			選択	分数の除法の文章問題にあった図を選ぶことができる。	活用	☆				◎		77.4	82.6
4	(1)		短答	文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表している。	基礎	☆					◎	72.2	77.0
	(2)		短答	2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	基礎	☆				◎		69.9	72.6
5	(1)		選択	高さが図形の外にある三角形の底辺と高さを読み取り、面積を求める式を理解している。	基礎		☆			◎		38.5	44.1
	(2)		短答	直径が与えられた円の面積を求める式を理解している。	基礎		☆			◎		84.8	88.4
	(3)		短答	角柱の体積を求めることができる。	基礎		☆			◎		69.1	74.6
6	(1)		選択	三角形の内角の和が180°であることを理解し、2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求めることができる。	基礎		☆			◎		72.7	74.6
	(2)		短答	正六角形の作図方法から、円の中心のまわりにできる角の大きさを求めることができる。	活用		☆			◎		82.1	79.1
7			選択	三角柱の展開図から、見取図の辺の長さを読み取ることができる。	基礎		☆			◎		73.8	68.5
8			短答	合同な三角形を作図することができる。	基礎		☆			◎		88.3	86.5
9			選択	表から面積と数の割合を求め、どのにわとり小屋が最も混んでいるかを考察している。	基礎			☆			◎	73.4	69.2
10			短答	速さと道のりから、時間を求めることができる。	基礎			☆		◎		79.4	72.1
11			選択	基準量と比較量から、割合を求めることができる。	基礎			☆		◎		53.8	53.9
12			選択	円グラフを読み取ることができる。	基礎				☆	◎		90.2	85.2
13	(1)	①	短答	中央値を求めることができる。	基礎				☆	◎		75.5	66.9
		②	短答	最頻値を求めることができる。	基礎				☆	◎		80.6	80.9
	(2)		短答	ドットプロットのデータを度数分布表に表すことができる。	基礎				☆	◎		85.9	83.2
14	(1)		選択	値に0があり、答えが小数になる分離量の平均を求めることができる。	活用				☆	◎		84.4	71.5
	(2)		短答	走る距離と歩幅の平均から、ある距離を走るときにおよそ何歩かかるかを求めている。	活用				☆		◎	60.7	35.9
	(3)		記述	問題の場面を理解し、4日間に走った道のりの平均から、2週間に走ると考えられる道のりを求めている。	活用				☆		◎	41.6	21.8
15	(1)		記述	線対称について理解し、示された方法で図形をつくることができるかどうかを説明している。	活用		☆				◎	38.6	43.0
	(2)		短答	点対称な図形の対称の中心から対応する2つの点までの長さについて理解している。	活用		☆			◎		81.0	85.3
	(3)		選択	線対称と点対称について理解し、既習の図形から線対称でも点対称でもある図形を選んでいる。	活用		☆				◎	39.4	38.6

◆設問別分析

・大問5(1)「高さが図形の外にある三角形の面積を求める式の理解」：正答率 38.5%

高さが図形の外にある三角形の底辺と高さを読み取り、面積を求める式を選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を 5.6 ポイント下回った。図形の面積の学習では、どうしてその公式になるのか、その意味を考えたり、求積のために必要な情報を選び出したりするなど、公式の理解を深め、活用できるよう指導することが大切である。

・大問14(3)「4日間の道のりの平均を用いて2週間の道のりを求める」：正答率 41.6%

4日間に走った道のりの平均から、2週間に走ると考えられる道のりを求める問題である。正答率は参考値を 19.8 ポイント上回ったものの、1日に走った平均を求めた誤答が 10.1%見られた。無解答率は 8.9%と全設問中で最も高かった。平均の活用の仕方については、具体的なデータを用いて指導することが大切である。

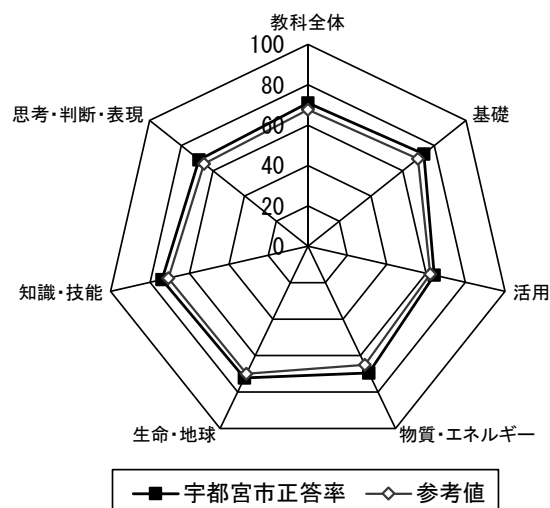
・大問15(1)「線対称についての理解をもとに説明する」：正答率 38.6%

提示された形は「あんりさんのつくり方」では作成できないことを説明する問題である。正答率は参考値を 4.4 ポイント下回り、無解答率は 3.4%であった。自分の考えとその理由を筋道立てて説明できる力を身に付けさせることが大切である。

4) 小学校第6学年 理科

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	71.0	67.7
基礎	73.3	69.6
活用	64.2	62.2
物質・エネルギー	69.5	65.2
生命・地球	72.3	70.1
知識・技能	74.0	70.7
思考・判断・表現	68.7	65.5
実施人数	4,013人	



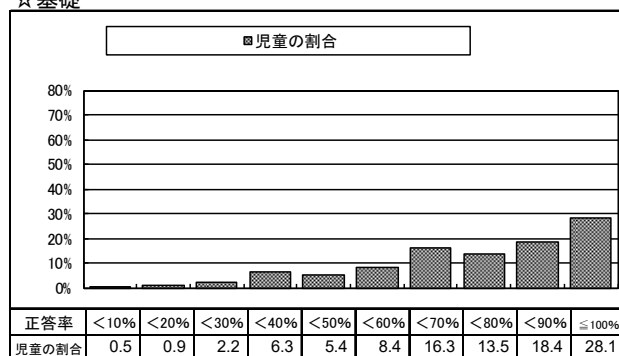
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

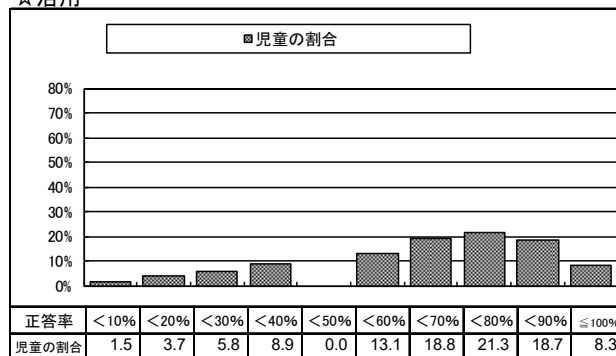
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は3.7ポイント、活用問題は2.0ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「物質・エネルギー」(+4.3ポイント)、「生命・地球」(+2.2ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は3.3ポイント、「思考・判断・表現」は3.2ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が8問と少ないため、正答率40%～50%未満の児童の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている児童の割合は46.5%、正答率が50%未満の児童の割合は15.3%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている児童の割合は80.2%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答 形式	出題のねらい	問題構成					宇都宮 市 正答率	参考値
大問	中間	小問			基礎・活用	領域		観点			
						物質・エネルギー	生命・地球	知識・技能	思考・判断・表現		
1	(1)		短答	侵食について理解している。	基礎		☆	◎		70.7	77.5
	(2)	①	選択	流れる水のはたらきについて、仮説が正しいといえるための結果を推測できる。	活用		☆		◎	76.4	74.1
		②	選択	流れる水の量が増えたときの水の速さの変わり方について理解している。	基礎		☆	◎		94.2	93.6
	(3)		選択	山の雨量と下流の川の水位の関係をグラフから読み取り、指摘できる。	活用		☆		◎	67.5	60.5
2	(1)		選択	ふりこの1往復の動きがわかる。	基礎	☆		◎		87.2	85.6
	(2)		短答	ふりが10往復する時間から周期を求められる。	基礎	☆			◎	65.6	51.5
	(3)		選択	ふりこの周期はふりこの長さに依存することを理解し、同じ周期になるふりこを指摘できる。	基礎	☆			◎	71.0	66.8
3	(1)		記述	実験における条件制御の誤りを指摘し、説明できる。	活用	☆			◎	52.7	53.9
	(2)		選択	グラフを読み、食塩とミョウバンの水へのとけ方について指摘できる。	基礎	☆			◎	78.0	76.9
	(3)		選択	水にとけた食塩とミョウバンを取り出す方法について指摘できる。	基礎	☆			◎	42.9	36.8
4	(1)		選択	電流の向きを変えたとき、電磁石がどの向きを向いて止まるかを推察することができる。	基礎	☆			◎	58.3	56.0
	(2)		記述	実験の結果から、コイルの巻き数を増やすと電磁石の強さが大きくなることを説明できる。	活用	☆			◎	79.0	80.5
	(3)		短答	乾電池2個を使って電磁石のはたらきを強くするために、直列つなぎにすることができる。	基礎	☆		◎		73.5	75.2
5	(1)		選択	空気を入れたびんの中の、気体の体積の割合を理解している。	基礎	☆			◎	69.9	67.0
	(2)		短答	酸素には、ものを燃やすはたらきがあることを理解している。	基礎	☆			◎	75.2	73.0
	(3)		選択	二酸化炭素とちっ素を区別する方法を指摘できる。	基礎	☆			◎	87.4	84.7
6	(1)		選択	消化管を理解している。	基礎		☆	◎		70.0	67.0
	(2)		選択	消化された養分は主に小腸で吸収されることを理解している。	基礎		☆	◎		63.8	61.7
	(3)		短答	かん臓のはたらきについて理解している。	基礎		☆	◎		61.5	56.6
7	(1)		選択	予想が正しかった場合の根の断面のようすを推測できる。	基礎		☆		◎	71.9	69.1
	(2)		短答	まとめの結論を導くために必要な実験の結果を指摘できる。	活用		☆		◎	84.7	85.3
	(3)		記述	ダイコンを保存するために、茎や葉を切る理由を説明できる。	活用		☆		◎	49.4	60.5
8	(1)	①	選択	自分で養分をつくることができる生物を理解している。	基礎		☆	◎		86.8	85.6
		②	選択	食物連鎖について、正しくない考えを話している人を指摘できる。	基礎		☆		◎	91.5	91.1
	(2)		短答	農家がテントウムシを畑に放す理由を食物連鎖をもとに推測できる。	活用		☆		◎	71.1	61.8
9	(1)		選択	水溶液を熱すると固体が残ったことから、どの水溶液であるかを推測できる。	基礎	☆			◎	74.2	71.1
	(2)		選択	食塩水をリトマス紙につけたときの色の変化を理解している。	基礎	☆			◎	56.7	53.3
	(3)		選択	鉄やアルミニウムは、うすい塩酸にとけることを理解している。	基礎	☆			◎	70.9	45.0
10	(1)		選択	全く光が当たっていないように見えるボールの位置を理解している。	基礎		☆	◎		81.9	77.7
	(2)		短答	実験の結果から、日によって月の形が変わって見える理由を考察することができる。	基礎		☆		◎	83.0	78.6
	(3)		選択	実験から、和歌がよまれたときの月の形を推測することができる。	活用		☆		◎	32.8	20.6

◆設問別分析

・大問3（1）「実験における条件制御の誤りについて説明する」：正答率 52.7%

食塩を水に溶かす前と後の全体の重さを比較する実験における条件制御の誤りについて説明する問題である。正答率は参考値を 1.2 ポイント下回った。無解答率は 6.5% であった。解決したい問題について、解決の方法を発想する際に、制御すべき要因と制御しない要因を区別し、条件制御についての理解を深めたい。

・大問7（3）「ダイコンを保存するために、茎や葉を切る理由について説明する」：正答率 49.4%

ダイコンを保存するために、茎や葉を切るとよい理由について説明する問題である。正答率は参考値を 11.1 ポイント下回った。無解答率は 10.8% と全設問中で最も高かった。植物のからだのつくりと働きについて、植物の絵を用いて自分の言葉で説明させるなどの学習活動を工夫することが大切である。

・大問10（3）「実験から、和歌が詠まれたときの月の形を推測する」：正答率 32.8%

実験結果をもとに、和歌が詠まれたときの月の形を選ぶ問題である。正答率は参考値を 12.2 ポイント上回ったものの、全設問中で最も低かった。誤答は各選択肢に分散しており、選択肢③が 37.3% と正答の割合を上回った。また、選択肢②が 10.3%、選択肢④が 17.8% 見られた。満月は太陽のちょうど反対側に見えるので、日没頃に東の空から昇り、夜半頃に南の空を通過して、日の出頃に西の空に沈むことを説明できるよう、モデルや図によって表現させるなど、学習活動の充実を図ることが大切である。

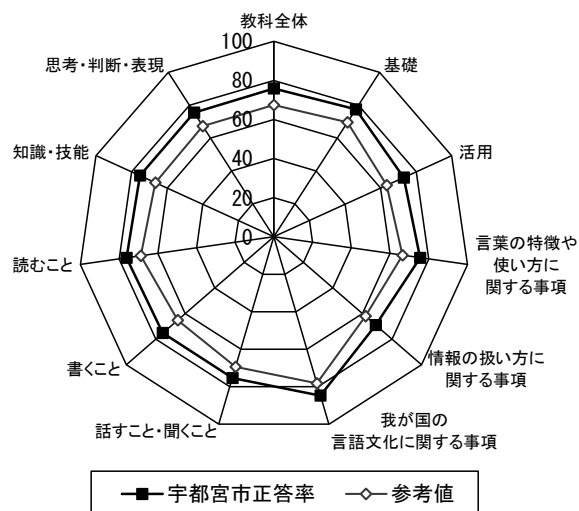
(3) 中学校第3学年結果分析

1) 中学校第3学年 国語

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	75.9	67.5
基礎	77.5	69.6
活用	73.0	63.4
領域別		
言葉の特徴や使い方に関する事項	75.6	66.5
情報の扱い方に関する事項	69.0	62.0
我が国の言語文化に関する事項	84.7	78.2
話すこと・聞くこと	75.3	69.4
書くこと	75.2	65.1
読むこと	76.2	68.8
観点別		
知識・技能	75.3	66.7
思考・判断・表現	75.6	67.3

実施人数 3,609人



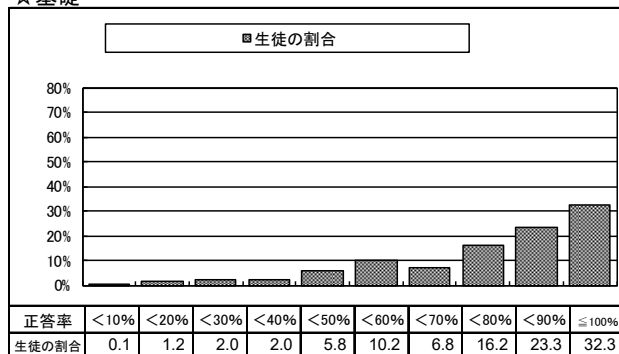
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

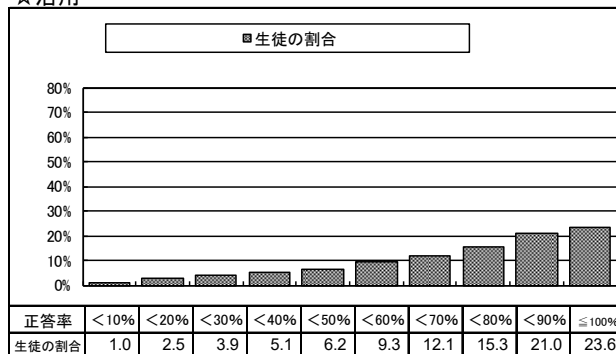
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は7.9ポイント、活用問題は9.6ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「書くこと」(+10.1ポイント)、「言葉の特徴や使い方に関する事項」(+9.1ポイント)、「読むこと」(+7.4ポイント)、「情報の扱い方に関する事項」(+7.0ポイント)、「我が国の言語文化に関する事項」(+6.5ポイント)、「話すこと・聞くこと」(+5.9ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は8.6ポイント、「思考・判断・表現」は8.3ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は55.6%、正答率が50%未満の生徒の割合は11.1%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は81.3%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答 形式	出題のねらい	問題構成								宇都宮 市 正答率	参考値
大問	中問	小問			基礎・ 活用	領域					観点			
						方 言 に 関 する 事 項	言 葉 の 特 徴 や 使 い	情 報 の 扱 い 方 に 関	我 が 国 の 言 語 文 化	と 話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
1	(1)		選択	話の展開を予測しながら聞いている。	基礎				☆			◎	89.9	84.4
	(2)		選択	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	基礎				☆			◎	67.4	62.8
	(3)		記述	自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話している。	活用				☆			◎	68.6	61.0
2	(1)	①	短答	第3学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	基礎	☆						◎	68.6	62.2
		②	短答		基礎	☆						◎	72.8	75.5
		③	短答		基礎	☆						◎	63.7	59.3
	(2)	①	短答	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	基礎	☆						◎	80.4	70.1
		②	短答		基礎	☆						◎	78.2	66.0
		③	短答		基礎	☆						◎	61.7	40.0
3	(1)		選択	助動詞について理解している。	基礎	☆						◎	88.7	85.0
	(2)		選択	対義語について理解している。	基礎	☆						◎	92.9	88.3
	(3)		選択	敬語について理解している。	活用	☆						◎	73.6	52.1
	(4)		選択	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。	基礎			☆				◎	84.7	78.2
4	(1)		選択	論理の展開の仕方を捉えている。	基礎					☆		◎	74.7	67.2
	(2)		短答	情報と情報との関係について理解し、論理の展開の仕方を捉えている。	活用		☆			☆	◎	◎	77.0	66.5
	(3)		選択	文章の構成や論理の展開について評価している。	基礎					☆		◎	79.4	72.9
5	(1)		選択	文章の表現の仕方について評価している。	基礎					☆		◎	76.7	70.4
	(2)		選択	物語の展開の仕方を捉えている。	基礎					☆		◎	74.8	67.7
	(3)		選択	文章を読んで考えを広げたり深めたりしている。	活用					☆		◎	74.6	68.2
6	(1)		選択	論理の展開を考えて、文章の構成を工夫している。	活用					☆		◎	75.3	70.0
	(2)		選択	自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	活用					☆		◎	83.8	79.2
	(3)		記述	情報と情報との関係について理解し、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	活用		☆			☆	◎	◎	60.9	57.6
7			記述	指定された長さで文章を書いている。	基礎					☆		◎	83.4	68.1
			記述	2段落構成で文章を書いている。	基礎					☆		◎	79.7	65.3
			記述		活用					☆		◎	81.2	69.2
			記述	自分の考えを明確にして書いている。	活用					☆		◎	62.0	46.5

◆設問別分析

・大問1（3）「自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話す」：正答率 68.6%

発表の練習の続きで、田中さんがどのように話すとよいかを、【構成メモの一部】をもとに、条件にしたがって書く問題である。正答率は参考値を 7.6 ポイント上回ったものの、無解答率は 12.1%であった。また、字数や書くべき内容など、条件の一部を満たしていない誤答が 9.1%見られた。問題文や資料、条件等の関連を整理し、書いた内容が条件に合っているか確かめるように指導することが大切である。

・大問6（3）「情報と情報との関係について理解し、考えを伝える文章を書く」：正答率 60.9%

【資料】と【付箋】の内容をもとに、【文章の下書き】の空欄にあてはまる言葉を、条件にしたがって書く問題である。正答率は参考値を 3.3 ポイント上回ったものの、全設問中で最も低かった。無解答率は 17.6%と全設問中で最も高かった。誤答には、字数や書くべき内容など、条件の一部を満たしていないものが 5.8%見られた。書くべき内容について、空欄の前後の文脈をとらえ、【資料】の内容を検討するなど、学習過程を踏まえ、論理的に考察するよう指導することが大切である。

・大問7「文章を書く」（自分の考えを明確にして書く）：正答率 62.0%

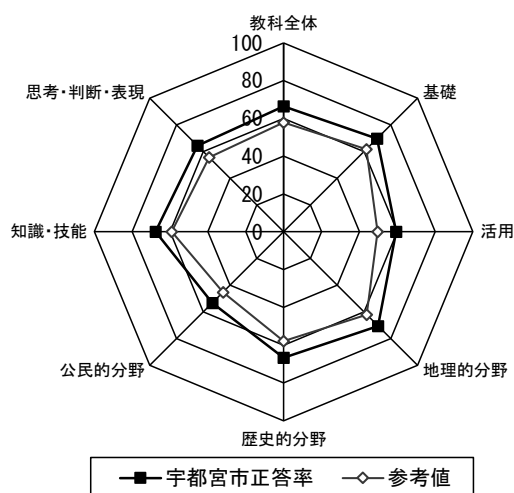
テーマに対する自分の考えを、〈注意する点〉にしたがって書く問題である。正答率は参考値を 15.5 ポイント上回ったものの、無解答率は 8.6%であった。〈注意する点〉④では、自分の考えを書くよう求められているが、一般的な考えを書いている誤答が 16.9%見られた。自分の考えを書くことは、社会生活においても求められることがある。意図的に書く機会を設定し、事実と感想、意見とを区別して書くなど、書き表し方を工夫しながら、自分の考えを明確に書く力を養いたい。

2) 中学校第3学年 社会

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	66.4	57.8
基礎	69.7	61.8
活用	59.5	49.6
領域別		
地理的分野	70.5	62.1
歴史的分野	66.6	57.8
公民的分野	53.3	45.2
観点別		
知識・技能	67.6	59.2
思考・判断・表現	64.5	55.7

実施人数 3,607人



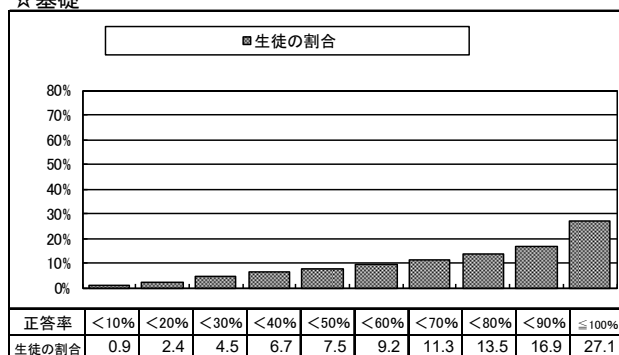
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

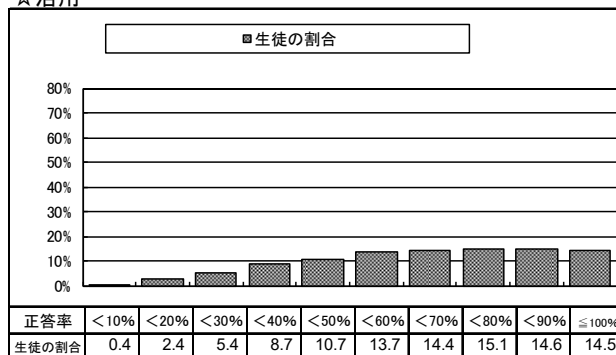
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は7.9ポイント、活用問題は9.9ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「歴史的分野」(+8.8ポイント)、「地理的分野」(+8.4ポイント)、「公民的分野」(+8.1ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は8.4ポイント、「思考・判断・表現」は8.8ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は44.0%，正答率が50%未満の生徒の割合は22.0%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は72.3%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答 形式	出題のねらい	問題構成						宇都宮 市 正答率	参考値
大問	中間	小問			基礎・活用	領域			観点			
						地理的分野	歴史的分野	公民的分野	知識・技能	思考・判断・表現		
1	(1)		選択	海洋の分布についての理解をもとに、地図を読み取っている。	活用	☆			◎		78.8	63.1
	(2)		選択	赤道の位置を理解している。	基礎	☆			◎		71.1	56.3
	(3)		短答	世界の地域区分について理解している。	基礎	☆			◎		73.9	63.4
2	(1)		選択	世界のさまざまな気候について、資料をもとに考察している。	活用	☆				◎	71.2	56.2
	(2)		短答	世界のさまざまな住居について理解している。	基礎	☆			◎		82.3	70.5
	(3)		選択	世界のさまざまな宗教について、宗教の特色についての理解をもとに、判断している。	活用	☆				◎	67.4	58.7
3	(1)		選択	日本の地形の特色について理解している。	基礎	☆			◎		58.6	46.1
	(2)		選択	日本の自然災害(地震)による被害についての理解をもとに判断している。	基礎	☆				◎	88.8	88.3
	(3)		記述	日本の資源・エネルギーにかかわる課題について、資料をもとに考察し表現している。	活用	☆				◎	43.1	36.4
4	(1)		選択	九州地方と近いアジアとの結びつきについて、資料を読み取っている。	基礎	☆			◎		88.1	85.6
	(2)		短答	中国・四国地方の地域活性化の取り組み(地域おこし)について理解している。	基礎	☆			◎		67.0	71.9
	(3)		選択	近畿地方の人口についての理解をもとに、資料を読み取っている。	活用	☆			◎		56.3	48.4
5	(1)		選択	旧石器時代の暮らしについて理解している。	基礎		☆		◎		78.7	76.6
	(2)		短答	時代区分(弥生時代)について理解している。	基礎		☆		◎		77.0	67.8
	(3)	①	選択	古墳の出土品について理解している。	基礎		☆		◎		72.6	67.2
	(3)	②	選択	大和政権による周辺国との交流について、資料をもとに考察している。	基礎		☆			◎	66.1	57.6
6	(1)		選択	建武の新政に対する人々の不満について、資料をもとに考察している。	基礎		☆			◎	89.1	75.9
	(2)		選択	承久の乱について理解している。	基礎		☆		◎		57.7	52.8
	(3)		選択	鎌倉時代から室町時代までの歴史の流れについて考察している。	活用		☆			◎	50.5	41.7
7	(1)		選択	徳川家光が改定した武家諸法度の内容について判断している。	基礎		☆			◎	70.1	62.2
	(2)		選択	江戸時代の大坂の蔵屋敷が集中していた地域について、資料をもとに判断している。	活用		☆			◎	75.1	67.3
	(3)		短答	蘭学について理解している。	基礎		☆		◎		69.7	57.3
	(4)		選択	開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	活用		☆			◎	36.3	37.9
8	(1)		選択	地租改正について、資料を読み取っている。	基礎		☆		◎		57.1	46.7
	(2)		短答	殖産興業について理解している。	基礎		☆		◎		74.3	58.5
	(3)		選択	板垣退助による政党結成について理解している。	基礎		☆		◎		61.1	50.5
	(4)		選択	大日本帝国憲法の制定について、資料をもとに考察している。	活用		☆			◎	63.6	47.5
9	(1)		短答	日本国憲法の三つの基本原理を理解している。	基礎			☆	◎		75.8	62.4
	(2)		短答	公共の福祉について理解している。	基礎			☆	◎		41.6	31.8
	(3)		選択	社会権の種類を理解している。	基礎			☆	◎		43.5	48.2
	(4)		記述	さまざまな新しい人権が認められるようになった背景について、考察し表現している。	活用			☆		◎	52.3	38.4

◆設問別分析

・大問3(3)「日本の資源・エネルギーにかかわる課題についての考察」：正答率 43.1%

ある再生可能エネルギーに関する二つの資料をもとに、そのエネルギーによる発電が日本で期待されている理由を書く問題である。正答率は参考値を 6.7 ポイント上回っているものの、「地熱」発電という名称のみが正しい誤答が 33.9%見られた。無解答率は 9.4%であった。授業では、理解の定着を図ることができるよう、習得した知識をもとに、説明や議論する学習活動を行うことが大切である。

・大問7(4)「開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断する」：正答率 36.3%

複数の資料をもとに、日米修好通商条約によって貿易を開始したあとの日本の社会情勢についての説明を選ぶ問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を 1.6 ポイント下回った。誤答は各選択肢に分散しており、選択肢①が 16.3%、選択肢③が 25.0%、選択肢④が 21.7%見られた。授業では、開国が与えた影響を多面的にとらえ、明治維新の動きを生み出したことに気付くことができるよう、複数の資料から集めた情報を関連付けて、説明する学習活動を行うことが大切である。

・大問9(3)「社会権の種類についての理解」：正答率 43.5%

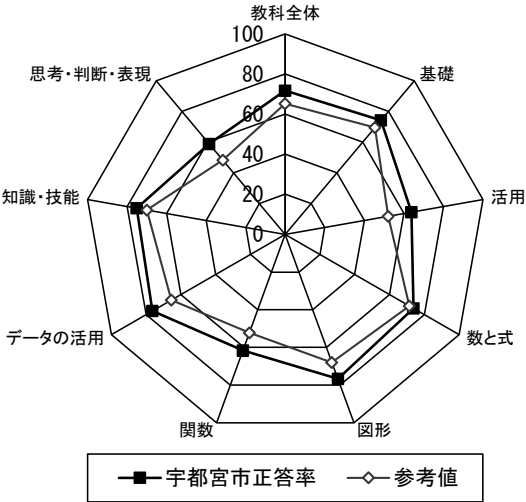
社会権に含まれるものとして誤っているものを選ぶ問題である。正答率は参考値を 4.7 ポイント下回った。誤答は各選択肢に分散しており、選択肢①が 11.2%、選択肢③が 17.2%、選択肢④が 27.1%見られた。授業では、基本的人権を中心に、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解することができるよう、日常の具体的な事例をもとに考察する学習活動を行うことが大切である。

3) 中学校第3学年 数学

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	71.6	65.2
活基 用礎 別・		
基礎	74.2	69.6
活用	63.8	52.0
領 域 別		
数と式	73.8	71.4
図形	76.7	67.9
関数	61.6	52.2
データの活用	76.4	65.4
観 点 別		
知識・技能	75.2	69.9
思考・判断・表現	58.9	48.3

実施人数3,605人



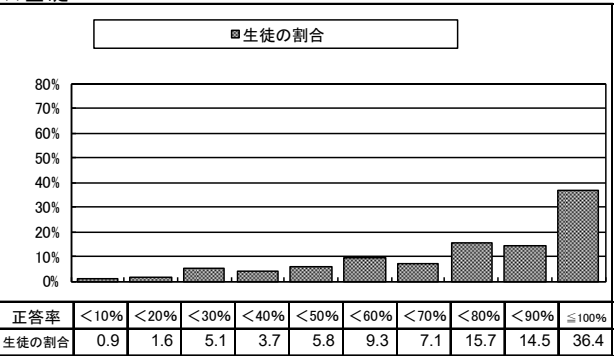
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

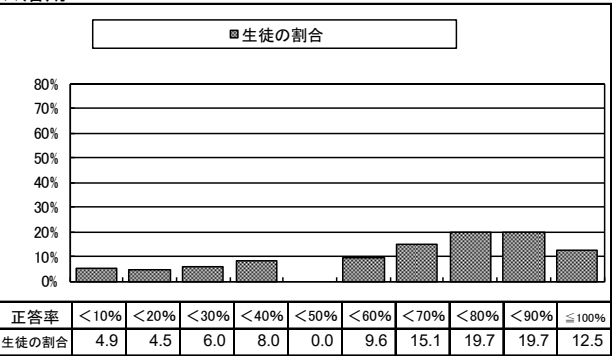
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は 4.6 ポイント、活用問題は 11.8 ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「データの活用」(+11.0 ポイント)、「関数」(+9.4 ポイント)、「図形」(+8.8 ポイント)、「数と式」(+2.4 ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は 5.3 ポイント、「思考・判断・表現」は 10.6 ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



※活用は設問数が 8 問と少ないため、正答率 40%～50%未満の生徒の割合が低くなっている。

◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が 80%を超えている生徒の割合は 50.9%，正答率が 50%未満の生徒の割合は 17.1%となっている。
- ・活用問題において正答率が 50%を超えている生徒の割合は 76.6%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号			解答 形式	出題のねらい	問題構成						宇都宮 市 正答率	参考値	
大問	中間	小問			基礎・ 活用	領域				観点			
						数と 式	図 形	関 数	デ ー タ の 活 用	知 識 ・ 技 能			思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
1	(1)		短答	正負の数の減法ができる。	基礎	☆				◎		90.2	82.9
	(2)		短答	正負の数の乗法ができる。	基礎	☆				◎		96.2	88.2
	(3)		短答	同類項をまとめることができる。	基礎	☆				◎		90.7	84.2
2			選択	連続する偶数を表す文字式について理解している。	基礎	☆				◎		66.5	53.5
3	(1)		短答	$(x+a)(x-a)$ の公式を使った展開をすることができる。	基礎	☆				◎		84.1	86.8
	(2)		短答	乗法の公式を使って式を簡単にすることができる。	基礎	☆				◎		50.6	54.7
4			選択	平方根の大小について理解している。	基礎	☆				◎		71.5	74.2
5	(1)		短答	根号をふくむ式の乗法ができる。	基礎	☆				◎		85.3	86.8
	(2)		短答	根号をふくむ式の減法ができる。	基礎	☆				◎		60.7	65.1
6	(1)		短答	加減法で連立方程式を解くことができる。	基礎	☆				◎		78.0	74.2
	(2)		短答	$(x+m)^2=n$ の形の二次方程式を解くことができる。	基礎	☆				◎		52.0	60.4
7			短答	与えられた文章問題に対して、適切な方程式を立式することができる。	活用	☆					◎	51.2	49.6
8			選択	反比例の関係とその式について理解している。	基礎			☆		◎		58.6	62.3
9	(1)		選択	比例の関係にあるxとyを、式に表すことができる。	基礎			☆		◎		77.5	72.7
	(2)		選択	与えられた1次関数のxとyの増加量から、変化の割合を求めることができる。	基礎			☆		◎		77.5	67.5
10	(1)		短答	y座標からグラフ上の点の座標を求めることができる。	基礎			☆		◎		58.4	56.2
	(2)		短答	グラフ上に頂点をもつ正方形の辺の長さを求めることができる。	活用			☆			◎	27.5	26.6
11			短答	座標軸上に頂点をもつ三角形の面積を求めることができる。	基礎			☆			◎	63.7	47.8
12	(1)		短答	ヒストグラムの階級の度数について理解している。	活用				☆	◎		88.6	76.0
	(2)		記述	ヒストグラムの特徴を読み取り、説明すべきことがらについて数学的に説明することができる。	活用				☆		◎	57.3	40.5
13	(1)		選択	さいころを投げたときの確率を求めることができる。	基礎				☆	◎		82.2	77.3
	(2)		選択	5人の中から、2人選ぶとき、Aが選ばれる確率を求めることができる。	基礎				☆	◎		77.4	68.0
14			短答	角の二等分線を作図することができる。	基礎		☆			◎		71.3	64.7
15			短答	おうぎ形の面積を求めることができる。	基礎		☆			◎		77.4	68.3
16	(1)		選択	平行であることを表す記号を理解している。	基礎		☆			◎		88.8	78.0
	(2)		選択	平行移動について理解している。	基礎		☆			◎		80.7	63.3
17	(1)		短答	多角形の内角・外角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。	基礎		☆			◎		76.7	75.8
	(2)		短答	平行線と同位角、錯角の関係と二等辺三角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	基礎		☆			◎		65.0	57.3
18	(1)		短答	連立方程式の解から、文章問題の答えを判断することができる。	活用	☆					◎	88.8	83.5
	(2)		記述	連立方程式をつくって解を求め、その解が文章問題の内容に適しているかどうかを判断し、その理由を説明することができる。	活用	☆					◎	67.4	55.9
19	(1)		短答	問題文を理解し、A店で10枚印刷したときにかかる費用を求めることができる。	活用			☆		◎		73.0	49.9
	(2)		記述	最も安く印刷することのできる店を判断するために、グラフをどのように読み取ればよいかを説明し、印刷枚数ごとに最も安い店を判断することができる。	活用			☆			◎	56.6	34.3

◆設問別分析

・大問3(2)「乗法公式」：正答率 50.6%

乗法公式を使って式を簡単にする問題である。正答率は参考値を 4.1 ポイント下回った。無解答率は 9.3%であった。乗法公式を用いた式の展開や因数分解については、演算記号の処理など、式を変形する際の基本的な手順のポイントを押さえた指導を行うことが大切である。

・大問6(2)「 $(x+m)^2=n$ の形の二次方程式」：正答率 52.0%

$(x+m)^2=n$ の形の二次方程式を解く問題である。正答率は参考値を 8.4 ポイント下回った。無解答率は 11.8%であった。二次方程式の解き方については、既習である平方根や因数分解の意味を確認しながら、解を求める過程について理解を深め、定着を図ることが大切である。

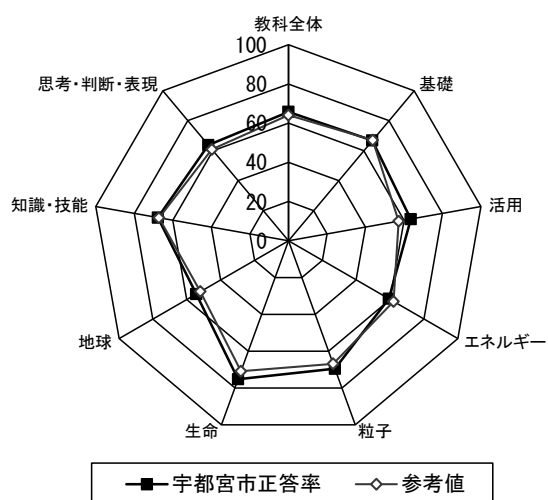
・大問10(2)「グラフ上に頂点をもつ正方形の辺の長さ」：正答率 27.5%

関数 $y=1/2x^2$ のグラフ上に頂点をもつ正方形の1辺の長さを求める問題である。正答率は全設問中で最も低かった。無解答率は 12.6%であった。問題の条件に応じた座標や長さを求めるなどの多様な活動を取り入れ、関数 $y=ax^2$ の特徴を式やグラフでとらえ、相互に関連付けることで、関数についての理解を深めることが大切である。

4) 中学校第3学年 理科

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	65.7	64.0
活基 用礎 別・		
基礎	66.7	67.1
活用	63.5	57.3
領域 別		
エネルギー	59.3	62.1
粒子	69.5	66.8
生命	75.2	70.9
地球	54.4	52.0
観点 別		
知識・技能	67.7	67.2
思考・判断・表現	63.7	60.8
実施人数 3,615人		



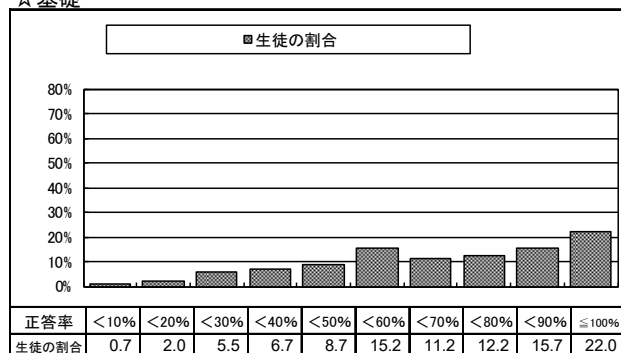
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

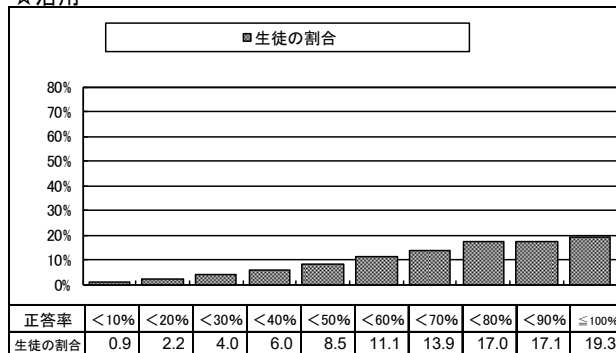
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は0.4ポイント下回っており、活用問題は6.2ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、上回っている領域は、「生命」(+4.3ポイント)、「粒子」(+2.7ポイント)、「地球」(+2.4ポイント)。下回っている領域は、「エネルギー」(-2.8ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は0.5ポイント、「思考・判断・表現」は2.9ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は37.7%、正答率が50%未満の生徒の割合は23.6%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は78.4%となっている。

【設問内容及び設問別正答率】

問題番号				解答 形式	出題のねらい	問題構成							宇都宮 市 正答率	参考値
大問	中間	小問	基礎・活用			領域				観点				
						エ ネ ル ギ ー	粒 子	生 命	地 球	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現			
1	(1)		選択	タンポポの正しいスケッチを指摘できる。	基礎			☆		◎		70.0	73.2	
	(2)		短答	タンポポの根のつくりを理解している。	基礎			☆		◎		78.6	70.8	
	(3)		選択	ドクダミとタンポポの生える条件を推測することができる。	基礎			☆		◎		92.0	79.6	
2	(1)		選択	メスシリンダーを使って物質の体積を測ることができる。	基礎		☆			◎		78.3	70.4	
	(2)		選択	密度の求め方を理解し、物質を同定できる。	基礎		☆			◎		79.2	78.0	
	(3)		選択	鉄の見分け方を考えることができる。	活用		☆			◎		73.9	61.3	
3	(1)		短答	光の入射角を理解している。	基礎	☆				◎		55.1	66.1	
	(2)		選択	鏡で反射した光の道すじを考えることができる。	活用	☆				◎		51.2	43.1	
	(3)		短答	乱反射について理解している。	基礎	☆				◎		70.6	64.0	
4	(1)		選択	火山の形と、マグマや火山噴出物の特徴との関係を理解している。	基礎				☆	◎		54.5	55.0	
	(2)		選択	スケッチから、火成岩を推測することができる。	基礎				☆		◎	55.5	58.6	
	(3)		記述	深成岩のでき方を説明することができる。	活用				☆		◎	67.5	49.8	
5	(1)		短答	脈拍が多くなると心臓のはたらきが活発になっていることを分析できる。	活用			☆		◎		70.2	63.0	
	(2)		記述	肺炎になると息苦しくなる理由を分析し、記述できる。	活用			☆		◎		69.0	56.5	
	(3)		選択	白血球について理解している。	活用			☆		◎		71.1	65.0	
6	(1)		選択	酸化銀を分解してきた白色の物質が、金属の性質を持つかどうかを調べる方法を指摘できる。	基礎		☆				◎	65.8	62.9	
	(2)	①	短答	化学反応式の記述のしかたを身に付けている。	基礎		☆			◎		50.9	45.6	
		②	選択	1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化を、「分解」ということを理解している。	基礎		☆			◎		90.8	93.4	
7	(1)		短答	磁力線について理解している。	基礎	☆				◎		34.9	54.2	
	(2)		選択	電流を流したコイルのまわりに置いた方位磁針の針の向きを指摘できる。	基礎	☆					◎	39.6	55.2	
	(3)		選択	電流を流す向きを反対にすると、方位磁針の針の向きが反対になることを考えることができる。	活用	☆					◎	83.7	85.7	
8	(1)		選択	大気圧の大きさを求める式を指摘できる。	活用				☆		◎	41.7	42.7	
	(2)		記述	ポンプを動かして水がくみ上げられた理由を記述できる。	活用				☆		◎	17.9	34.3	
	(3)		選択	大気圧が関係している現象を理解している。	活用				☆	◎		89.3	71.4	
9	(1)		短答	減数分裂について理解している。	基礎			☆		◎		68.9	69.6	
	(2)		選択	受精について理解している。	基礎			☆		◎		84.2	86.7	
	(3)		選択	有性生殖の例を指摘できる。	基礎			☆			◎	73.1	73.7	
10	(1)		選択	塩化銅水溶液を電気分解したときの、電極のようすを指摘できる。	基礎		☆			◎		53.0	47.4	
	(2)		選択	電流が流れない水溶液を指摘できる。	基礎		☆			◎		75.7	75.6	
	(3)		短答	電離について理解している。	基礎		☆			◎		57.8	67.1	
11	(1)		選択	紙テープの打点の間隔の変化から、速さの変化を考えることができる。	基礎	☆					◎	87.6	86.7	
	(2)		選択	テープの長さから、そのテープが記録されたときの台車の平均の速さを求めることができる。	基礎	☆					◎	52.1	41.7	

◆設問別分析

・大問7（1）「磁力線についての理解」：正答率 34.9%

図に示された方位磁針の N 極が指す向きをつないでできる曲線の名称を答える問題である。正答率は参考値を 19.3 ポイント下回った。無解答率は 13.6% であった。電流、磁界に関する現象の観察、実験から規則性や関係性を見いだす活動などを通して、用語の定着を図ることが大切である。

・大問8（2）「ポンプを動かして水がくみ上げられた理由の説明」：正答率 17.9%

ポンプを動かして水がくみ上げられた理由を、大気圧という言葉を使って説明する問題である。正答率は全設問中で最も低く、参考値を 16.4 ポイント下回った。無解答率は 27.2% と全設問中で最も高かった。大気圧と水面の関係性について丁寧に確認し、科学的な言葉を用いて説明できるよう指導することが大切である。

・大問10（3）「電離についての理解」：正答率 57.8%

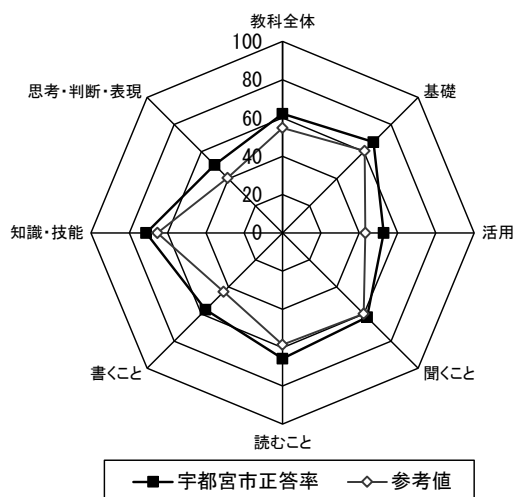
物質が、水溶液中などで、陰イオンと陽イオンに分かれる現象の名称を答える問題である。正答率は参考値を 9.3 ポイント下回った。無解答率は 10.9% であった。イオンや電離についての基本的な概念が獲得されるよう、粒子をモデル図で表すなど、可視化して理解させることが大切である。

5) 中学校第3学年 英語

【カテゴリー別正答率】 (%)

	宇都宮市 正答率	参考値
教科全体	62.3	54.8
活基 用礎 別・		
基礎	67.0	60.6
活用	52.7	43.3
領域 別		
聞くこと	62.4	59.8
読むこと	65.7	58.5
書くこと	56.8	43.5
観点 別		
知識・技能	71.2	65.3
思考・判断・表現	50.1	40.6

実施人数 3,615人



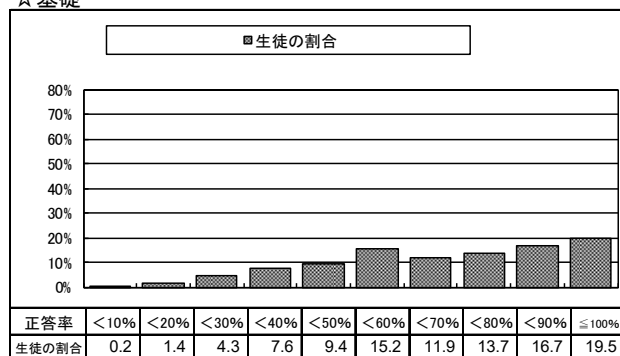
※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率であり、本市児童生徒の定着度を客観的に分析するための参考として示している。

◆参考値と比較した本市正答率の状況

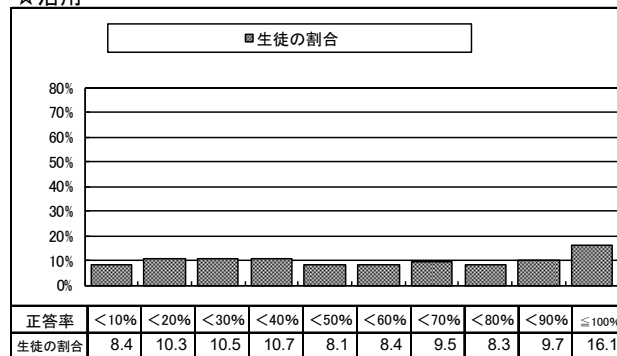
- ・基礎・活用別に参考値と比較すると、基礎問題は6.4ポイント、活用問題は9.4ポイント上回っている。
- ・領域別に参考値と比較すると、すべての領域で上回っている。「書くこと」(+13.3ポイント)、「読むこと」(+7.2ポイント)、「聞くこと」(+2.6ポイント)。
- ・観点別に参考値と比較すると、「知識・技能」は5.9ポイント、「思考・判断・表現」は9.5ポイント上回っている。

【正答率度数分布】

☆基礎



☆活用



◆基礎・活用別本市正答率の状況

- ・基礎問題において正答率が80%を超えている生徒の割合は36.2%、正答率が50%未満の生徒の割合は22.9%となっている。
- ・活用問題において正答率が50%を超えている生徒の割合は52.0%となっている。

問題番号			解答 形式	出題のねらい	問題構成						宇都宮 市 正答率	参考値
大問	中間	小問			基礎・活用	領域			観点			
						聞くこと	読むこと	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現		
1	(1)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(道具の説明)	基礎	☆			◎		76.6	80.7
	(2)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(位置の説明)	基礎	☆			◎		78.1	70.6
	(3)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(人物の説明)	基礎	☆			◎		91.7	88.9
	(4)		選択	英文を聞き、その内容を理解して、英文の内容に合う絵を選んでいる。(天候の説明)	基礎	☆			◎		28.2	31.8
2	(1)		選択	対話を聞き、適切に応答している。(弟と公園で遊んでくれないかとたずねられて)	基礎	☆			◎		80.2	74.8
	(2)		選択	対話を聞き、その概要を捉えて、適切に応答している。(なぜそれを作っているのかとたずねられて)	基礎	☆			◎		42.7	37.2
	(3)		選択	対話を聞き、その概要を捉えて、適切に応答している。(所有物を使用していいかとたずねられて)	基礎	☆			◎		77.3	67.9
3			選択	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	活用	☆			◎		64.2	63.4
4			選択	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	活用	☆			◎		35.8	33.3
5			記述	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを書いている。	活用	☆			◎		49.1	49.1
6	(1)	①	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(間接疑問文)	基礎		☆		◎		66.6	65.3
		②	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(現在完了(完了))	基礎		☆		◎		69.2	75.1
		③	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(副詞的用法の不定詞)	基礎		☆		◎		70.5	64.4
		④	選択	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(最上級)	基礎		☆		◎		77.1	70.4
	(2)	①	選択	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	基礎		☆		◎		90.1	84.5
		②	選択	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	基礎		☆		◎		67.9	63.5
7	(1)		選択	発表のための原稿を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	活用		☆		◎		55.4	52.1
	(2)		選択	ポスターを読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	活用		☆		◎		78.1	65.4
	(3)	①	選択	対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を選んでいる。	活用		☆		◎		75.4	67.3
		②	選択	対話を読み、対話の流れと資料から、必要な情報を把握して適切な金額を選んでいる。	活用		☆		◎		48.3	36.8
8	(1)		選択	メールを読み、その内容を理解している。	基礎		☆		◎		59.5	46.8
	(2)		選択	メールを読み、代名詞itが指す内容を理解している。	基礎		☆		◎		73.6	60.3
	(3)		選択	メールを読み、その内容を理解している。	基礎		☆		◎		62.9	50.3
	(4)		短答	メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	活用		☆		◎		25.1	16.9
9	(1)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(動名詞)	基礎			☆	◎		74.2	58.7
	(2)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(giveを用いたSVOOの文)	基礎			☆	◎		75.8	60.9
	(3)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(be going to ～の疑問文)	基礎			☆	◎		78.9	68.3
	(4)		短答	文の語順を理解し、正確に書いている。(比較級)	基礎			☆	◎		56.6	58.2
10	(1)		記述	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(自分の持ち物の使用を許可する)	基礎			☆	◎		49.2	34.7
	(2)		記述	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(見た場所をたずねる)	基礎			☆	◎		28.0	19.3
11			記述	学校の制服について、自分の考えや意見を相手に伝わるように書いている。	活用			☆	◎		53.3	36.9
			記述	学校の制服について、自分の考えに対する理由や説明を、相手に伝わるように書いている。	活用			☆	◎		54.0	35.1
			記述	学校の制服について、自分の考えや意見を、まとまった内容で相手に伝わるように書いている。	活用			☆	◎		41.1	19.8

・大問1 (4)「リスニング (内容理解)」: 正答率 28.2%

・大問6 (1) ②「語形・語法の知識・理解（現在完了(完了)）」：正答率 69.2%

・大問 10 (2)「場面に応じて書く英作文 (見た場所をたずねる)」: 正答率 28.0%

27

(4) 指導の工夫・改善

小 学 校 第 6 学 年 国 語

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 72.3%，活用問題は 64.4%となっており、参考値との差は、それぞれ、 -0.6 ポイント、 -0.9 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率はともに参考値と同程度であった。言葉や文章を正確に理解し適切に表現するために必要となる、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成に向けた指導を継続する必要がある。

話や文章に含まれている情報を整理してとらえることは、話や文章を正確に理解し、適切に表現することにつながるため、今後も、話や文章の内容から情報を的確にとらえるとともに、自分の考えを形成し、表現することに生かせるよう指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、文と文との接続の関係についての理解や、段落の役割について理解し、2 段落構成で文章を書くことなどに課題が見られた。接続語の使い方については、接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割について指導することで理解を深めることが大切である。また、2 段落構成で文章を書くことについては、書く前に材料を集め、文章の組み立てを考えるよう指導することが大切である。
- 「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理することに課題が見られた。文章の中のキーワードを囲んだり、矢印をかき込んだりするなど、操作的な活動を取り入れ、情報と情報との関係を視覚的にも理解させることで、文章全体から必要な情報を取り出して整理する力を養うことが大切である。
- 「我が国の言語文化に関する事項」では、和語、漢語、外来語についての理解に課題が見られた。語句の由来などに関心をもつことにより、言葉について深く理解したり、言葉の知識を広げたりすることができる。現代では、日常生活の中で外来語が多用されている。知らない外来語に出合ったら、辞書やインターネットなどで調べ、他の日本語に言い換えられないかを考えるように指導することで理解を深めたい。
- 「話すこと・聞くこと」では、自分が聞こうとする意図に応じて、インタビューの内容をとらえることなどに課題が見られた。インタビューの目的をしっかりと意識して話を聞くよう指導し、メモを取るだけでなく、聞き取ったことを友達に伝える活動に取り組ませたい。
- 「書くこと」では、指定された長さで文章を書くことや、予想される反論とそれに対する意見を書くことなどに課題が見られた。文章を書く前に、理由や反論、事例などを構成メモ等に整理し、文章全体の構成や展開を考える活動に取り組ませ、より説得力のある意見となるように書き表し方を工夫させることが大切である。
- 「読むこと」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることを重視した指導の充実が図られていることが考えられる。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 77.9%，活用問題は 66.6%となっており、参考値との差は、それぞれ、+2.1 ポイント，+1.6 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、考えたことをもとに説明したり、議論したりするなど、思考・判断したことをまとめたり伝え合ったりする学習活動を重視した指導の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせながら、自ら学習を進めていくことができるよう、単元を通した学習過程の中に、身に付けた知識及び技能を活用する場面を設定して指導と評価を行いながら、説明する力や議論する力の育成を目指す授業改善を行うことが重要である。

なお、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べ、白地図や年表、図表などにまとめたり、説明したりする技能については、児童の発達の段階や学習内容相互の関連など、系統性に留意して、計画的に指導していくことが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「国土の自然環境などの様子」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、国内の林業が抱える課題についての理解に課題が見られた。自然災害の防止や貯水、二酸化炭素の吸収、生物の生息の場の提供といった、森林の多様な働きをとらえた上で、森林が人々の生活に与える影響に気付かせることが重要である。森林を保全する必要性について考えさせることで、林業の現状の課題について理解を深めたい。
- 「農業や水産業」及び「工業生産」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、米の生産の工程、生産量の多い都道府県や、日本の工業の特色などについて、資料をもとに考えさせる指導の充実が図られていることが挙げられる。
- 「産業と情報との関わり」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、さまざまなメディアの特徴や、インターネットを利用するときの注意について、指導の充実が図られていることが挙げられる。
- 「日本の政治」では、内閣の働きについての理解に課題が見られた。内閣の役割については、国民との関わりに着目して、国会の立法、裁判所の司法の役割や相互の関連について調べることを通して、理解を深めたい。
- 「日本の歴史」では、源平の戦いについての理解をもとに、資料を判断することや、元との戦いについての理解をもとに、防塁について表現することなどに課題が見られた。歴史的な事象については、それぞれの時代背景とその前後の社会の変化とを関連付けてとらえられるよう指導することが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 74.5%，活用問題は 63.2%となっており、参考値との差は、それぞれ、+0.7 ポイント、+6.0 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、数の意味と表現、計算に関して成り立つ性質に着目し、計算の仕方を考える態度を養うとともに、データの特徴や傾向に着目して整理し、整理した内容をもとに考察する力を養う学習活動の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、数学的な見方・考え方を働かせながら問題を解決する活動を工夫し、公式の意味についての理解を深め、活用する力や、数量の整理に関わる数学的活動を通して身の回りの事象の特徴をとらえる力を高めるよう指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「数と計算」では、基本的な分数や小数の四則計算や、分数の除法の文章問題に合った図を判断することに課題が見られた。基本的な計算技能の習熟を図るとともに、分数の乗法や除法については、問題場面の数量関係を数直線に表したり、簡単な数に置き換えて計算の仕方を考えたりできるように指導することが大切である。
- 「図形」では、高さが図形の外にある三角形の底辺と高さを読み取り、面積を求めることや、角柱の体積を求めることなどに課題が見られた。図形の面積や体積の学習では、公式を覚えさせるだけでなく、児童が公式の意味を理解したり、図形を構成する要素に着目して面積や体積を求めたりできるよう指導を行うことが大切である。
- 「変化と関係」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回るか、参考値と同程度の結果であったが、基準量と比較量から割合を求めることに課題が見られた。割合については、全体の量が異なる場合、割合を用いて数量の関係どうしを比べることができるというよさに気付かせるよう、児童がイメージしやすい日常生活での例を取り上げるなど、学習を工夫したい。
- 「データの活用」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回るか、参考値と同程度の結果であったが、問題の場面を理解し、4 日間に走った道のりの平均から、2 週間に走ると考えられる道のりを求めることに課題が見られた。平均の求め方だけでなく、平均の活用の仕方についても指導し、平均のよさを理解させることが大切である。また、どのように考えて求めたかを児童に説明させる活動を多く取り入れ、筋道立てて説明する力を高めることが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 73.3%，活用問題は 64.2%となっており、参考値との差は、それぞれ、+3.7 ポイント，+2.0 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、身近な自然に親しむ活動や、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に探究する活動の充実が図られていることが挙げられる。

今後も，理科の見方・考え方を働かせて自然の事物・現象についてとらえ，予想や仮説をもとに観察，実験などを行い，結果を整理し，その結果をもとに結論を導き出すといった問題解決の学習活動を重視し，科学的に問題を解決する力を高められるよう指導することが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「物質・エネルギー」では，実験における条件制御の誤りを指摘し，説明することなどに課題が見られた。その実験で調べたいことは何か，何と何を比較することで調べたいことが明らかになるのかを，丁寧に確認する必要がある。条件制御については，課題に対して実験方法や考察が妥当であるかどうか互いの考えを尊重しながら話し合う活動を取り入れるなど，既にもっている考えをより科学的なものに変容させるための指導を工夫することが大切である。
- 「生命・地球」では，侵食についての理解や，植物のつくりと働きについての理解をもとに説明することなどに課題が見られた。基本的な用語については，学習した用語を適切に用いて自然事象を説明する活動に繰り返し取り組ませることで，確実な定着を図りたい。また，植物の体のつくりや，根から吸い上げられた水の行方，葉で養分をつくる働きについては，観察や実験から得られた結果をもとに，考察を書いたり，話し合ったりする学習活動を行うとともに，映像やその他の資料も活用して理解を確かなものにすることが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 77.5%，活用問題は 73.0%となっており、参考値との差は、それぞれ、+7.9 ポイント，+9.6 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、日常の言語活動の中で、言葉による見方・考え方を働かせ、思考・判断・表現する活動を重視した指導の成果が表れていることが考えられる。

今後も、さまざまな場面において多様な言語活動に取り組ませるとともに、自分の考えを支える根拠を明確にしたり、表現の工夫とその効果を検討したりするなど、自分の考えが伝わる表現の仕方について考える力を高めるよう指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、「兼ねる」の読みの定着や、「預ける」を書くことに課題が見られた。漢字については、さまざまな教科の文章を書く活動の中で、分からない漢字はすぐに辞書などで調べ、既習の漢字を使って文章を書く習慣を身に付けさせることが大切である。
- 「情報の扱い方に関する事項」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、情報と情報との関係について理解し、必要な情報を落とさずに書くことに課題が見られた。複数の資料から必要な情報を読み取り、まとめ書く際には、意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係についてとらえ、必要な情報を整理するよう指導することが大切である。
- 「我が国の言語文化に関する事項」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。現代語訳を手掛かりに古典を読む力が身に付いており、古典に親しむことを重視した指導の充実が図られていると考えられる。
- 「話すこと・聞くこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、自分の考えを明確にし、論理の展開を考えて話す内容をまとめることに課題が見られた。話すこと・聞くことに関する活動において、話の展開を予測しながら聞くことや、自分の立場や考えを明確にし、考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することを意識させる指導を継続したい。
- 「書くこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、自分の考えを明確にして書くことに課題が見られた。書こうとする内容に対して根拠や理由を挙げたり、分かりやすく説明するための事例を挙げたりする練習を積ませることが大切である。
- 「読むこと」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。その理由として、説明的な文章の構成や論理の展開の仕方、文学的な文章の表現の仕方や効果などをとらえることを重視した学習活動に継続して取り組んでいることが挙げられる。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 69.7%，活用問題は 59.5%となっており，参考値との差は，それぞれ，+7.9 ポイント，+9.9 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として，基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに，生徒の主体性を引き出し，さまざまな資料を活用して，社会的事象を多面的・多角的に考察することを重視した指導の充実が図られていることが考えられる。

今後も，生徒が社会的事象の見方・考え方を働かせながら，自ら学習を進めていくことができるよう，単元を通じた学習過程の中に，身に付けた知識及び技能を活用する場面を設定して指導と評価を行いながら，説明する力や議論する力の育成を目指す授業改善を行うことが重要である。

なお，社会的事象等について調べまとめる技能については，各分野，各単元の学習課題を追究したり解決したりする学習過程の中に，生徒自らが，解決に必要な情報を，多様な手段を活用して収集する学習活動を位置付けるなどして，系統性に留意して，計画的に指導していくことが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「地理的分野」では，ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが，中国・四国地方の地域活性化の取組についての理解に課題が見られた。過疎の課題を抱える市町村が取り組んでいる，特色ある自然環境や文化財，伝統文化などの観光資源を生かした地域おこし（町おこし・村おこし）について，具体例をもとに理解を深めることが大切である。
- 「歴史的分野」では，ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが，開国による日本の社会への影響について，複数の資料をもとに判断することに課題が見られた。開国とその影響については，欧米諸国のアジア進出と関連付けて指導するとともに，開国の政治的及び社会的な影響について理解を深めさせたい。
- 「公民的分野」では，ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが，社会権の種類についての理解に課題が見られた。平等権，自由権，社会権，参政権や裁判を受ける権利といった基本的人権の種類や内容について，具体的事例を通して指導することで理解を深めさせるとともに，人権をめぐる諸課題について関心を高め，よりよい社会を築いていく意欲と態度を育成するように配慮することが大切である。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 74.2%，活用問題は 63.8%となっており、参考値との差は、それぞれ、+4.6 ポイント、+11.8 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、知識・技能を活用して主体的に問題解決するための思考力・判断力・表現力等をはぐくむことを重視した数学的活動の充実が図られていることなどが挙げられる。

今後も、知識・技能を確実に用いることができるように指導するとともに、数学的な問題解決の場面で、思考力・判断力・表現力等を発揮することで適切に問題を解決できることを体験させ、数学的な表現や処理のよさを実感させるよう指導することが重要である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「数と式」では、 $(x+m)^2=n$ の形の二次方程式を解くことや、乗法の公式を用いて式を簡単にするなど課題が見られた。二次方程式の解法や式の展開の仕方については、生徒自身が誤答を振り返る活動などを通し、演算記号の処理などの基本的な手順のポイントを押さえ、公式を覚えるだけでなく活用できるよう指導することが大切である。
- 「図形」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であった。図形についての基礎的な概念の理解や基本的な作図方法の定着を図るとともに、図形の性質や関係をとらえ、論理的に考察し表現する力を高める指導の充実が図られていると考えられる。
- 「関数」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、反比例の関係とその式についての理解や、グラフ上に頂点をもつ正方形の1辺の長さを求めることに課題が見られた。反比例の関係については、表をもとに反比例の関係を視覚的に確かめさせるなどして確実に理解させ、また、 x の2乗に比例する関数の活用では、座標や面積を求めるなどの多様な問題に触れさせ、問題の条件に応じた立式の過程について丁寧に指導することが大切である。併せて、日常生活や社会の事象を、表や式・グラフでとらえ、それらを関連付けることで関数の意味についての理解を深めることが重要である。
- 「データの活用」では、すべての設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、ヒストグラムの特徴をもとに結論を数学的に説明することに課題が見られた。何のために平均値や範囲を求め、ヒストグラムに表すのか、それらの意味や求め方について確認することが大切である。ヒストグラムを用いることで、複数の集団のデータの分布を比較し、傾向を適切にとらえることができるというよさを実感させたい。また、ヒストグラムから何が読み取れるのか、ヒストグラムからだけでは分からないことは何かを、理由と一緒に考えさせるなどの活動を通して、根拠を明らかにして説明する力を高めたい。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 66.7%，活用問題は 63.5%となっており、参考値との差は、それぞれ、 -0.4 ポイント、 $+6.2$ ポイントとなっている。

活用問題の本市正答率が参考値を上回っている理由として、観察、実験などの結果を理科の見方・考え方を働かせ、整理、分析して解釈し、特徴や規則性を見いだして表現する活動を重視した指導の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、自然の事物・現象に対する基本的な概念や原理・法則についての理解を深め、課題を解決するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付け、科学的に探究する活動を通して思考・判断・表現する力を高めるよう指導することが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「エネルギー」では、磁力線についての理解や、電流を流したコイルの回りに置いた方位磁針の針の向きを指摘することなどに課題が見られた。磁石や電流による磁界の観察を丁寧に行い、用語について確認するとともに、観察した現象について学習した用語を用いてまとめたり、説明したりする活動を通して、電流と磁界についての理解を深めることが大切である。
- 「粒子」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、電離についての理解などに課題が見られた。電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、イオンの生成についての理解を深めるとともに、用語の定着を図りたい。
- 「生命」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回るか、参考値と同程度の結果であったが、減数分裂についての理解に課題が見られた。減数分裂について知識の定着が十分でない場合、体細胞分裂と減数分裂を混同してしまうことが考えられる。減数分裂は生殖細胞ができるときに起こる、染色体の数が半分になる特殊な細胞分裂であり、細胞分裂の過程を説明するなどの活動を通して、減数分裂についての理解を深め、知識の定着を図ることが大切である。
- 「地球」では、ポンプを動かして水がくみ上げられた理由を記述することなどに課題が見られた。大気圧については、観察、実験を通して、その結果を空気の重さと関連付けて理解させることが大切である。大気圧について実感がない生徒も多いため、身の回りで大気圧を利用している道具を探したり、その仕組みを考えたりする活動などを通して、理解を深めたい。

◆基礎・活用問題に関わる考察

正答率は、基礎問題は 67.0%，活用問題は 52.7%となっており、参考値との差は、それぞれ、+6.4 ポイント、+9.4 ポイントとなっている。

基礎・活用問題の本市正答率がともに参考値を上回っている理由として、日常的な話題や社会的な話題について、実際のコミュニケーション活動の中で、学習した表現を繰り返し活用することや、目的や相手に応じた表現を用いて、情報や自分の思い、考えを伝え合う力を高めることを重視した指導の充実が図られていることが挙げられる。

今後も、生徒の学習状況を的確にとらえ、適切な課題を設定するとともに、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報や考えなどを的確に理解したり、自分の考えや気持ちを適切に表現したりする力を身に付けられるよう、言語活動の内容を工夫することが大切である。

◆内容・観点に関わる考察

- 「聞くこと」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、英文を聞き、その内容に合致した絵を選ぶことに課題が見られた。聞く活動を行う際には、聞かせる前に話し手の立場や会話の場面を踏まえて推測させることや、名前や日付、時間、数字などのキーワードに注目させ、メモを取りながら聞かせるなどの指導が有効である。また、聞き取れなかった箇所について、スクリプトを確認した後に再度聞かせたり、聞けなかった箇所を意識しながら音読させたりすることで、理解を深めさせることが大切である。
- 「読むこと」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、対話文を読み、文構造や文法事項についての理解をもとに言語材料を正しく選択することや、メールを読み、その概要をとらえて英文を完成させることに課題が見られた。文構造や文法事項の定着を図るためには、繰り返し言語材料に触れさせ、段階的・継続的に指導することが大切である。長文の読み取りについては、どんな情報を得るために読むのか意識させることや、図や表にまとめながら読ませること、読んだ後に内容を伝え合うことなどの指導の工夫が効果的である。
- 「書くこと」では、ほとんどの設問で本市正答率が参考値を上回る結果であったが、文の語順を理解し、正確に書くことや、対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書くことなどに課題が見られた。「書くこと」においては、実際にやり取りするなどしながら音声面で使い慣れさせた後に英文を書く練習に取り組ませることが求められる。言語活動を行うにあたっては、書く内容を目的に応じて選んだり、相手や目的によって表現を工夫したりすることが大切である。また、書き表したものをペアやグループで読み合い、言語面や内容面での気付きをもとに推敲するなど、言語活動を関連付けた段階的な指導の工夫が効果的である。

学習と生活についてのアンケート

実 施 結 果 報 告

3. 「学習と生活についてのアンケート」結果の状況

(1) 設問別肯定的回答率一覧

1) 学習について

(単位：％)

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
① 教科の好き嫌い、将来への役立ち感												
勉強が好きですか。	86.6	81.9	76.7	71.5	60.5	59.4	41.2	37.3	40.4	72.8	39.7	61.7
学校の授業がどの程度分かりますか。	—	—	91.9	92.5	91.2	92.9	83.7	79.1	81.4	92.1	81.4	87.5
次の教科などの学習は、好きですか。												
国語	75.7	68.3	72.4	71.8	63.4	61.3	66.9	63.0	67.2	68.8	65.7	67.8
社会	—	—	62.4	58.6	59.4	69.6	67.1	65.5	72.3	62.5	68.3	65.0
算数(数学)	75.2	70.2	76.6	69.2	59.2	62.1	58.4	55.4	54.6	68.8	56.1	64.5
理科	—	—	90.5	89.3	77.7	70.2	71.1	66.5	68.4	81.9	68.7	76.2
音楽	89.1	85.8	86.1	83.1	79.0	76.3	77.9	74.4	76.6	83.2	76.3	80.9
図工(美術)	93.6	91.1	90.6	92.1	88.4	83.8	77.5	73.2	75.5	89.9	75.4	85.1
体育(保健体育)	92.1	90.9	91.1	89.8	87.2	82.3	78.7	77.1	82.7	88.9	79.5	85.8
家庭(技術・家庭)	—	—	—	—	87.1	81.0	75.7	75.3	74.3	84.0	75.1	78.7
生活	90.5	95.3	—	—	—	—	—	—	—	92.9	—	—
英語	88.9	85.7	85.0	80.2	72.9	72.3	66.0	58.8	59.0	80.9	61.3	74.3
道德	67.3	68.8	77.0	78.4	73.9	72.8	75.8	74.0	78.0	73.0	75.9	74.0
学級活動	85.2	87.6	89.5	90.9	89.1	89.6	89.2	85.9	88.7	88.7	87.9	88.4
総合的な学習の時間	—	—	82.5	83.8	80.7	82.8	82.5	81.0	83.8	82.5	82.4	82.4
次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか。												
国語	—	—	96.2	97.5	97.1	97.7	96.0	95.0	94.8	97.1	95.3	96.3
社会	—	—	94.6	95.4	92.9	90.8	84.0	78.7	87.9	93.4	83.5	89.2
算数(数学)	—	—	96.4	97.3	96.8	96.7	92.2	84.6	80.5	96.8	85.8	92.1
理科	—	—	85.5	84.2	75.4	76.7	72.8	67.9	69.7	80.4	70.1	76.0
音楽	—	—	72.3	69.9	62.6	59.4	51.9	45.7	49.1	66.0	48.9	58.7
図工(美術)	—	—	76.1	74.3	67.0	65.7	50.0	43.0	45.1	70.8	46.0	60.2
体育(保健体育)	—	—	90.7	90.2	85.6	85.6	87.3	87.4	88.8	88.0	87.8	87.9
家庭(技術・家庭)	—	—	—	—	95.5	96.3	90.0	90.4	90.8	95.9	90.4	92.6
英語	—	—	93.4	94.4	93.2	93.1	93.2	90.4	91.0	93.5	91.5	92.7
道德	—	—	90.6	93.2	92.7	93.4	93.3	91.2	93.2	92.5	92.6	92.5
学級活動	—	—	83.0	82.9	78.7	78.7	77.3	75.4	81.1	80.8	77.9	79.6
総合的な学習の時間	—	—	85.1	87.3	82.0	81.1	76.8	74.8	79.0	83.9	76.8	80.9

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小 全体	中 全体	小中 全体
② 授業への取組について												
授業の始まりには席についている。	89.2	87.1	87.5	90.0	90.2	91.7	95.9	95.4	96.3	89.3	95.9	91.5
授業に必要な学習用具は忘れずに持ってきている。	89.0	88.1	88.5	90.9	90.5	91.5	92.8	94.3	96.4	89.8	94.5	91.3
先生からさされたら、へんじをしていますか。	91.7	89.2	—	—	—	—	—	—	—	90.5	—	—
先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。	93.5	94.1	92.8	93.3	93.5	94.0	95.3	95.0	96.6	93.5	95.6	94.2
グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。	86.4	82.8	80.5	80.7	77.8	80.0	81.6	81.2	83.2	81.4	82.0	81.6
自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	—	—	70.3	69.3	63.3	68.4	70.9	72.6	78.3	67.8	73.9	70.4
ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。	—	—	77.4	75.3	73.5	77.4	77.5	77.9	83.9	75.9	79.8	77.6
授業を集中して受けている。	—	—	88.5	89.4	87.2	89.1	87.3	86.1	89.3	88.6	87.6	88.1
③ 学習に対する気持ちや態度について												
学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	88.0	80.0	81.5	80.3	76.1	76.3	70.6	65.9	76.4	80.4	71.0	77.2
将来の進路や職業についての希望を持って学習している。	—	—	83.3	81.2	76.6	75.0	64.4	65.2	77.2	79.0	68.9	74.7
学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	80.4	82.0	92.1	91.2	89.3	89.9	86.0	82.6	85.9	87.5	84.8	86.6
学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい。	95.3	96.0	94.1	94.0	91.9	92.7	92.1	90.5	93.0	94.0	91.9	93.3
学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。	—	—	96.4	97.5	96.1	96.8	95.4	92.8	92.5	96.7	93.5	95.3
④ 学習の仕方について												
授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている。	82.5	77.7	78.6	78.1	75.5	78.9	76.3	70.5	71.8	78.6	72.9	76.7
新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	82.5	79.0	65.4	59.4	52.0	52.9	56.2	52.2	65.7	65.2	58.0	62.8
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	—	—	75.1	69.3	62.3	67.1	62.8	57.7	70.0	68.4	63.5	66.3
本を利用して、学習に関する情報を得ている。	—	—	68.4	65.7	60.0	57.3	36.2	30.2	35.7	62.8	34.0	50.5
インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている。	—	—	76.2	81.8	85.3	90.7	80.6	77.1	83.9	83.5	80.5	82.2
インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任を持って情報を発信している。	—	—	—	—	86.6	90.5	91.4	90.2	94.0	88.6	91.9	90.6
パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる。	—	—	75.3	88.7	93.9	97.3	97.9	98.0	98.0	88.8	98.0	92.7
調べたことをパソコンを使ってまとめることができる。	—	—	73.6	85.2	90.5	94.3	94.2	94.1	94.5	85.9	94.3	89.5
パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。	—	—	71.1	78.1	83.6	89.0	86.8	87.0	89.3	80.5	87.7	83.6

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小 全体	中 全体	小中 全体
⑤ 家庭での学習について												
学校から、家庭学習に必要な教科書などの学習用具を持ち帰っている。	94.3	93.5	88.9	90.5	89.6	90.0	87.8	82.6	86.2	91.1	85.5	89.2
宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	95.7	95.7	88.5	88.3	86.7	87.0	81.2	81.1	82.6	90.3	81.6	87.4
授業で習ったことを、その日のうちに復習している。	—	—	55.3	50.9	42.3	38.8	40.0	32.0	37.6	46.8	36.5	42.4
自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	—	—	66.1	65.2	60.3	62.7	56.5	49.5	62.5	63.6	56.2	60.4
テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	—	—	78.6	74.5	63.3	65.9	72.4	65.3	72.7	70.6	70.1	70.4
前の日のうちに、次の日の学校の用意をしている。	84.7	82.9	84.9	84.9	82.7	82.3	77.4	72.0	71.9	83.7	73.8	80.4
家の人は、あなたの学習に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	—	—	88.8	89.2	87.6	86.9	84.7	82.1	85.1	88.1	84.0	86.3
平日の学習時間(塾や家庭教師も含む)(平均値)	44分	47分	48分	54分	58分	1時間 7分	1時間 13分	1時間 12分	2時間 19分	53分	1時間 35分	1時間 7分
休日の学習時間(塾や家庭教師も含む)(平均値)	34分	35分	39分	45分	49分	1時間	1時間 15分	1時間 14分	2時間 41分	44分	1時間 43分	1時間 4分
⑥ 世の中のことへの興味・関心について												
社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	—	—	69.7	71.5	65.3	66.7	60.1	58.6	68.9	68.3	62.5	65.8
社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	—	—	74.4	74.8	68.8	72.5	63.7	59.8	71.1	72.6	64.9	69.3
ふだんから、「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	64.7	61.9	86.8	88.2	86.6	87.7	83.5	80.7	85.3	79.3	83.2	80.6
地域のお祭りに進んで参加したり、コンサートや演劇、絵画を鑑賞したりするなど、文化や芸術に触れる機会がある。	—	—	72.9	69.4	66.3	64.3	59.1	54.5	56.5	68.2	56.7	63.3
様々な人の生き方に感動することがある。	—	—	72.2	72.6	73.6	76.6	75.2	73.6	80.2	73.8	76.3	74.9
いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	92.8	91.4	85.4	83.7	77.2	75.2	72.5	68.9	74.0	84.3	71.8	80.1

2) 生活について

(単位：%)

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
① 毎日の生活について												
家の人にあいさつをしていますか。	89.9	90.7	91.6	93.4	93.5	94.0	94.4	93.4	94.6	92.2	94.1	92.8
学校で、先生や友だちなどにあいさつをしていますか。	90.7	91.4	90.7	91.9	92.8	95.2	97.3	97.0	97.3	92.1	97.2	93.8
地域で、知っている人などにあいさつをしていますか。	80.5	82.6	84.1	85.3	83.6	86.5	86.2	84.3	84.1	83.8	84.9	84.1
学校生活に満足していますか。	89.9	90.6	85.5	85.2	86.0	88.4	88.9	85.3	89.3	87.6	87.8	87.7
学校のきまりやマナーを守っていますか。	92.6	92.5	92.4	92.7	90.9	92.8	94.9	94.7	96.6	92.3	95.4	93.3
社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守っていますか。	—	—	94.4	96.0	96.9	98.0	98.8	98.5	98.8	96.3	98.7	97.3
平日、1日に本を読む時間(教科書やまんがのはのぞく)(平均値)	32分	31分	28分	28分	24分	22分	20分	20分	19分	28分	20分	25分
休日、1日に本を読む時間(教科書やまんがのはのぞく)(平均値)	29分	29分	28分	28分	24分	22分	17分	16分	14分	27分	16分	23分
平日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	56分	1時間5分	1時間16分	1時間27分	1時間37分	1時間46分	1時間41分	1時間41分	1時間34分	1時間21分	1時間39分	1時間27分
休日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	1時間8分	1時間21分	1時間35分	1時間51分	2時間5分	2時間14分	2時間19分	2時間19分	2時間8分	1時間42分	2時間15分	1時間53分
平日に寝る時刻(平均値)	9時4分	9時4分	9時11分	9時25分	9時42分	9時58分	10時34分	11時0分	11時34分	9時24分	11時3分	9時57分
平日に起きる時刻(平均値)	6時8分	6時16分	6時17分	6時21分	6時25分	6時25分	6時28分	6時35分	6時43分	6時19分	6時35分	6時24分
② 自分自身のことについて												
将来の夢や目標を持っている。	90.4	89.1	89.3	87.6	84.2	79.8	71.3	69.0	73.9	86.7	71.4	81.6
自分のよさを人のために生かしたいと思う。	87.9	85.8	86.8	84.1	86.1	87.3	85.9	85.2	88.8	86.3	86.6	86.4
自分で決めたことは最後まで努力している。	92.6	90.0	85.6	83.6	84.0	84.3	83.8	81.5	84.2	86.7	83.2	85.5
自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	—	—	87.9	88.2	88.3	90.8	90.9	90.1	92.6	88.8	91.2	89.8
学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる。	—	—	89.3	90.2	90.5	92.0	92.7	90.6	93.6	90.5	92.3	91.3
助け合ったり協力し合ったりすることは大切だと思う。	98.0	97.9	97.0	97.9	97.9	98.1	98.4	97.8	98.7	97.8	98.3	98.0
働くことや人のために役立つことは大切だと思う。	97.9	98.4	97.4	98.0	97.9	97.8	98.2	97.9	98.2	97.9	98.1	98.0
時と場に応じたことばづかいに気を付けている。	88.9	86.4	86.3	86.3	83.0	84.1	94.8	95.6	97.0	85.8	95.8	89.1
あいさつや返事をすることは、必要だと思う。	97.7	98.2	97.1	97.5	97.7	98.0	98.2	98.4	98.7	97.7	98.4	97.9
学校のきまりやマナーを守することは大切だと思う。	98.3	98.7	97.0	97.6	97.8	97.7	97.9	97.2	97.8	97.8	97.6	97.8
友だちの人権や気持ちを考えて行動している。	—	—	92.3	92.9	93.5	95.0	96.0	95.8	97.4	93.4	96.4	94.7
誰に対しても、思いやりの心を持って接している。	93.5	91.2	89.5	89.3	89.3	89.8	91.9	90.1	92.9	90.4	91.6	90.8
命は、何よりも大切であると思う。	98.3	98.4	98.0	97.9	97.9	96.7	97.0	96.3	96.0	97.9	96.4	97.4
お年寄りに感謝の気持ちを持っている。	96.5	96.5	94.8	94.3	93.3	90.6	90.6	88.1	87.6	94.3	88.8	92.5
お年寄りの役に立ちたいと思う。	95.2	95.0	93.2	92.9	89.8	87.5	86.5	83.5	83.0	92.3	84.3	89.6
今の生活や将来に、なやみや不安がある。	—	—	52.9	50.3	44.5	51.3	50.3	59.6	63.9	49.8	57.9	53.3
中学校の学習や生活が楽しみである。	—	—	—	—	73.6	76.2	—	—	—	74.9	—	—
宇都宮市の「よさ」を紹介することができる。	—	—	74.3	78.6	79.2	78.5	71.3	68.1	71.2	77.7	70.2	74.5
他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	—	—	84.8	85.2	76.4	83.0	81.5	81.9	87.7	82.3	83.7	82.9

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小全体	中全体	小中全体
③ 友だちのことについて												
困っている友だちに、自分から進んで手助けをしている。	91.4	91.9	91.8	92.2	91.3	91.9	93.8	91.5	92.7	91.7	92.7	92.0
自分の気持ちを理解し、なやみごとなどを相談できる友だちがいる。	—	—	88.0	87.8	85.6	86.2	87.6	86.8	87.4	86.9	87.3	87.1
友だちから、親切にされたことがある。	91.2	93.8	92.7	95.4	96.5	97.8	97.9	98.1	98.7	94.6	98.2	95.8
友だちといっしょに過ごすことは楽しい。	97.5	97.7	96.8	96.9	97.6	97.5	98.2	98.0	98.4	97.3	98.2	97.6
人の悪口を言ったり無視したりすることはいけな いと思う。	97.0	97.9	96.7	96.9	96.2	96.1	96.7	95.6	96.0	96.8	96.1	96.6
④ 家の人や先生について												
なやみごとなどを相談できる大人(家の人や先生 など)がいる。	93.4	94.2	93.1	93.4	92.4	90.3	89.1	86.2	86.2	92.8	87.2	90.9
学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて 家の人と話すことがある。	—	—	79.3	78.6	76.3	77.7	73.7	79.1	82.9	78.0	78.6	78.2
家の人といっしょに過ごすことは楽しい。	97.1	97.6	96.8	96.6	95.6	92.5	90.6	87.8	89.1	96.0	89.2	93.7
学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立て た目標を達成できるように家の人に応援してくれ る。	—	—	89.6	91.5	91.5	92.3	92.2	91.1	92.9	91.2	92.1	91.6
家的人是、自分のよいところやがんばったことを 認めてくれる。	—	—	93.3	94.7	94.5	93.7	92.3	90.2	91.7	94.1	91.4	92.9
先生は、自分のよいところやがんばったことを認 めてくれる。	—	—	93.5	94.1	92.9	92.5	93.8	90.2	93.1	93.3	92.4	92.9
いえの人は、あいさつやへんじをすることの大せ つさをおしえてくれますか。	84.6	85.6	—	—	—	—	—	—	—	85.1	—	—
家的人是、あなたの生活態度に関心があり、必 要な注意やアドバイスしてくれる。	—	—	91.9	92.1	92.9	93.1	93.3	90.9	92.5	92.5	92.2	92.4
⑤ 家での過ごし方について												
本や新聞を読んでいる。	72.4	69.4	61.4	59.2	49.3	44.8	36.2	33.8	33.1	59.4	34.4	51.1
家の手伝いをしている。	89.4	84.3	77.4	79.3	77.3	75.3	70.5	68.9	68.6	80.5	69.4	76.8
朝、自分で起きることができる。	58.7	57.8	64.8	66.3	65.0	68.7	69.7	69.4	72.3	63.5	70.5	65.9
夜は決まった時間に寝ている。	73.1	69.8	69.8	66.8	62.0	64.3	58.7	59.8	59.2	67.6	59.2	64.8
地域での活動(子ども会や育成会の行事など)に 参加している。	67.9	68.3	63.4	59.2	56.3	52.9	36.7	28.6	25.7	61.3	30.3	51.0
⑥ スマートフォンや携帯電話について												
自分のスマートフォンや携帯電話を持っています か。	27.6	29.6	38.9	49.2	62.2	68.6	87.2	89.2	90.5	46.0	88.9	60.3
見てはいけないサイトにつながらなくなるように、 フィルタリングをしたり、キッズケータイ®を使ったり している。	74.1	70.6	68.5	73.2	75.0	77.2	76.2	73.6	65.0	73.1	71.6	72.6
スマートフォンや携帯電話を使うときのルールを、 家の人と決めている。	79.2	80.2	79.4	82.5	82.7	83.9	82.7	77.5	71.5	81.3	77.2	79.9
名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなどの 個人情報を、誰でも見られるサイトやSNSに書 き込まないようにしている。	82.6	90.4	88.3	91.8	94.4	95.4	96.3	95.7	95.8	90.5	95.9	92.3
平日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話や ゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見 たり、SNSを利用したりする時間(平均値)	47分	1時間 5分	1時間 4分	1時間 14分	1時間 24分	1時間 39分	1時間 58分	2時間 7分	2時間 3分	1時間 12分	2時間 3分	1時間 29分
平日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了 時刻(平均値)	8時1分	8時8分	8時14分	8時29分	8時45分	9時7分	9時52分	10時19分	10時49分	8時27分	10時20分	9時5分
休日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話や ゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見 たり、SNSを利用したりする時間(平均値)	55分	1時間 13分	1時間 17分	1時間 29分	1時間 41分	1時間 58分	2時間 30分	2時間 40分	2時間 35分	1時間 26分	2時間 35分	1時間 49分
休日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了 時刻(平均値)	8時8分	8時11分	8時21分	8時38分	8時56分	9時20分	10時5分	10時30分	10時57分	8時36分	10時31分	9時14分
家的人是あなたがスマートフォンや携帯電話をど のように使っているかチェックしていますか。	70.3	74.0	72.7	72.5	70.7	70.4	69.3	61.4	50.9	71.8	60.6	68.0
LINE®やInstagram®などのSNSでうまく思いが 伝わらず、嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさ せてしまったことはありますか。	77.1	86.3	86.4	88.6	85.7	83.1	83.6	81.9	81.3	84.5	82.3	83.8

設問内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小 全体	中 全体	小中 全体
⑦ 体力について												
運動をすることは大切だと思う。	97.6	98.1	97.3	97.8	97.7	97.6	98.0	97.6	98.2	97.7	98.0	97.8
休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしている。	77.2	76.0	78.2	78.3	70.4	65.4	65.3	61.7	53.4	74.3	60.1	69.6
健康や体力に自信があると思う。	88.0	82.9	80.9	75.6	66.4	62.9	59.7	56.6	54.5	76.1	57.0	69.7
⑧ 健康や食事について												
早寝、早起きを心がけている。	74.5	74.1	82.4	79.5	73.8	71.4	66.0	62.3	60.5	75.9	62.9	71.6
健康診断で指摘されたところは、早めに治療している。	—	—	—	—	86.5	88.7	88.9	87.6	89.4	87.6	88.6	88.2
歯みがきをしていますか。	95.0	96.7	96.9	98.2	98.7	99.2	98.6	98.4	98.7	97.5	98.6	97.8
毎日、朝食を食べていますか。	95.4	95.6	94.5	94.8	94.7	92.5	92.9	91.8	91.0	94.6	91.9	93.7
好ききらいをしないで食べていますか。(きらいなものでも1口は食べている。)	86.6	88.4	85.0	87.0	85.4	87.3	84.6	85.8	85.4	86.6	85.3	86.2
朝食は家の人といっしょに食べている。	71.4	68.6	74.2	71.2	67.1	66.2	60.1	56.9	54.7	69.8	57.2	65.6
夕食は家の人といっしょに食べている。	93.2	92.9	92.3	93.6	92.9	91.8	89.9	87.5	83.8	92.8	87.1	90.9
食事のときには、「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。	91.2	90.9	92.8	94.4	93.3	94.0	93.4	94.3	94.3	92.8	94.0	93.2
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)に気をつけて食べている。	88.3	86.2	88.9	89.5	86.2	89.5	90.1	91.1	92.6	88.1	91.3	89.2
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)を守って食べることは大切だと思う。	96.7	97.3	96.2	96.9	96.5	97.0	96.7	96.3	97.1	96.8	96.7	96.7
3食きちんと食べることは大切だと思う。	98.0	98.9	97.0	97.2	97.2	97.0	97.5	96.7	97.2	97.5	97.2	97.4
栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う。	—	—	96.9	97.5	97.1	97.8	97.8	98.0	98.3	97.3	98.0	97.6
食品に表示されている原材料や消費期限などについて関心がある。	—	—	—	—	83.5	83.8	79.7	76.3	81.8	83.7	79.3	81.0
食品の品質や安全性を考えて、食材を選んでいる。	—	—	—	—	84.4	85.8	83.7	81.5	83.1	85.1	82.8	83.7
お正月に食べるおせちなどの行事食(季節の行事やお祝いの日に食べる料理)や、しもつかれなどの郷土料理を知っている。	—	—	—	—	87.9	91.2	89.7	90.0	91.7	89.6	90.5	90.1
地域で生産された野菜や果物などを、選んで食べることは大切だと思う。	95.1	95.9	93.4	92.4	90.3	88.4	85.2	84.4	86.7	92.6	85.4	90.2
家の人は、あなたの食生活に関心があり、朝食をしっかりと食べることなど、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	—	—	88.2	89.0	88.4	88.5	86.8	83.4	84.9	88.5	85.0	87.0
未成年者は、飲酒してはいけないと思う。	94.0	96.4	96.3	97.9	97.7	97.3	98.0	97.5	98.0	96.6	97.8	97.0
健康のため、たばこはすうべきではないと思う。	95.5	97.1	96.8	97.6	97.6	97.1	97.9	97.5	98.0	97.0	97.8	97.2
麻薬、覚せい剤など薬物は使ってはいけないと思う。	—	—	—	—	98.3	98.8	99.0	98.7	99.1	98.6	98.9	98.8
性について学ぶことは大切だと思う。	—	—	86.3	85.5	91.7	89.2	90.3	92.0	96.2	88.2	92.9	90.2
⑨ 安全について												
交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている。	98.2	98.1	97.8	98.5	98.1	98.5	98.4	98.7	98.7	98.2	98.6	98.3
不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている。	98.0	98.0	96.4	96.8	96.2	96.0	95.6	94.7	95.2	96.9	95.1	96.3
自分や身の周りの人々の安全に気を配り、安全に行動している。	98.2	97.7	94.7	95.9	95.6	96.8	97.4	96.7	97.7	96.5	97.2	96.7

（２）設問のカテゴリー別に見られる傾向

１）学習について

① 教科の好き嫌い、将来への役立ち感

（単位：％）

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
勉強が好きですか。	今年度	86.6	81.9	76.7	71.5	60.5	59.4	41.2	37.3	40.4
	昨年度	88.0	81.7	77.8	70.9	65.4	59.9	40.9	37.2	40.2
学校の授業がどの程度分かりますか。	今年度	—	—	91.9	92.5	91.2	92.9	83.7	79.1	81.4
	昨年度	—	—	92.2	93.1	92.4	93.7	83.0	80.9	81.1
次の教科などの学習は、好きですか。										
国語	今年度	75.7	68.3	72.4	71.8	63.4	61.3	66.9	63.0	67.2
	昨年度	78.4	71.3	71.9	71.7	64.8	62.6	65.6	66.3	70.0
社会	今年度	—	—	62.4	58.6	59.4	69.6	67.1	65.5	72.3
	昨年度	—	—	62.4	60.2	61.0	69.3	64.4	67.3	73.5
算数(数学)	今年度	75.2	70.2	76.6	69.2	59.2	62.1	58.4	55.4	54.6
	昨年度	76.1	69.9	77.0	71.1	61.8	63.6	58.4	58.0	56.4
理科	今年度	—	—	90.5	89.3	77.7	70.2	71.1	66.5	68.4
	昨年度	—	—	91.0	89.5	80.2	75.4	70.1	69.8	68.2
音楽	今年度	89.1	85.8	86.1	83.1	79.0	76.3	77.9	74.4	76.6
	昨年度	88.9	87.1	83.4	83.7	77.5	75.6	75.1	73.9	76.8
図工(美術)	今年度	93.6	91.1	90.6	92.1	88.4	83.8	77.5	73.2	75.5
	昨年度	93.1	90.9	91.6	91.8	87.8	84.7	73.6	76.0	74.9
体育(保健体育)	今年度	92.1	90.9	91.1	89.8	87.2	82.3	78.7	77.1	82.7
	昨年度	92.4	91.1	90.3	89.8	85.8	82.9	75.8	78.3	81.4
家庭(技術・家庭)	今年度	—	—	—	—	87.1	81.0	75.7	75.3	74.3
	昨年度	—	—	—	—	88.9	81.7	73.0	75.0	74.8
生活	今年度	90.5	95.3	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	90.2	94.2	—	—	—	—	—	—	—
英語	今年度	88.9	85.7	85.0	80.2	72.9	72.3	66.0	58.8	59.0
	昨年度	87.7	86.4	85.7	83.6	78.8	74.3	65.5	56.1	60.7
道徳	今年度	67.3	68.8	77.0	78.4	73.9	72.8	75.8	74.0	78.0
	昨年度	68.7	68.0	75.8	77.7	73.1	70.9	73.0	76.2	75.1
学級活動	今年度	85.2	87.6	89.5	90.9	89.1	89.6	89.2	85.9	88.7
	昨年度	86.0	88.8	88.6	91.1	89.7	91.2	87.0	88.2	88.6
総合的な学習の時間	今年度	—	—	82.5	83.8	80.7	82.8	82.5	81.0	83.8
	昨年度	—	—	83.2	83.6	82.1	84.7	81.7	83.7	84.0

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか。										
国語	今年度	—	—	96.2	97.5	97.1	97.7	96.0	95.0	94.8
	昨年度	—	—	96.6	97.3	97.4	97.7	95.0	95.2	94.0
社会	今年度	—	—	94.6	95.4	92.9	90.8	84.0	78.7	87.9
	昨年度	—	—	95.1	94.5	94.1	91.7	81.9	80.5	87.7
算数(数学)	今年度	—	—	96.4	97.3	96.8	96.7	92.2	84.6	80.5
	昨年度	—	—	97.2	97.5	97.6	97.0	91.1	86.7	80.7
理科	今年度	—	—	85.5	84.2	75.4	76.7	72.8	67.9	69.7
	昨年度	—	—	87.4	85.2	79.7	79.5	71.3	70.3	68.9
音楽	今年度	—	—	72.3	69.9	62.6	59.4	51.9	45.7	49.1
	昨年度	—	—	73.5	73.1	63.7	62.1	49.3	46.8	49.3
図工(美術)	今年度	—	—	76.1	74.3	67.0	65.7	50.0	43.0	45.1
	昨年度	—	—	78.7	77.3	68.8	67.8	46.9	45.2	47.1
体育(保健体育)	今年度	—	—	90.7	90.2	85.6	85.6	87.3	87.4	88.8
	昨年度	—	—	90.8	90.5	87.0	86.3	85.6	88.0	88.7
家庭(技術・家庭)	今年度	—	—	—	—	95.5	96.3	90.0	90.4	90.8
	昨年度	—	—	—	—	96.1	96.0	90.4	90.7	92.2
英語	今年度	—	—	93.4	94.4	93.2	93.1	93.2	90.4	91.0
	昨年度	—	—	94.4	94.9	94.6	94.5	91.5	90.1	91.4
道徳	今年度	—	—	90.6	93.2	92.7	93.4	93.3	91.2	93.2
	昨年度	—	—	90.0	93.7	91.9	92.2	91.5	92.0	91.6
学級活動	今年度	—	—	83.0	82.9	78.7	78.7	77.3	75.4	81.1
	昨年度	—	—	83.3	83.5	80.9	81.7	76.8	79.7	79.5
総合的な学習の時間	今年度	—	—	85.1	87.3	82.0	81.1	76.8	74.8	79.0
	昨年度	—	—	86.8	87.4	83.6	83.7	77.1	79.0	78.6

- 「学習内容定着度調査」の対象教科である算数(数学)、理科、英語を「とても好き」、「まあ好き」と肯定的に回答した割合は、小6と中3を比べると中3の方が1.8～13.3ポイント低くなっており、英語の差が最も大きい。
- 「学習内容定着度調査」の対象教科である国語、社会、算数(数学)、理科、英語では、「将来のために大切」の設問に肯定的に回答した割合は、小6と中3のすべての教科で、「とても好き」、「まあ好き」と肯定的に回答した割合よりも高くなっている。

② 授業への取組について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業の始まりには席についている。	今年度	89.2	87.1	87.5	90.0	90.2	91.7	95.9	95.4	96.3
	昨年度	89.7	86.6	88.1	91.6	92.1	93.1	94.8	96.3	96.1
授業に必要な学習用具は忘れずに持ってきている。	今年度	89.0	88.1	88.5	90.9	90.5	91.5	92.8	94.3	96.4
	昨年度	87.4	87.9	89.6	91.0	91.6	92.0	91.6	93.9	95.8
先生からさされたら、へんじをしていますか。	今年度	91.7	89.2	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	92.7	88.3	—	—	—	—	—	—	—
先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。	今年度	93.5	94.1	92.8	93.3	93.5	94.0	95.3	95.0	96.6
	昨年度	93.8	93.9	91.9	94.3	94.5	95.3	93.9	94.3	95.4
グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。	今年度	86.4	82.8	80.5	80.7	77.8	80.0	81.6	81.2	83.2
	昨年度	85.2	82.9	81.2	80.0	78.6	80.5	80.2	81.4	82.1
自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	今年度	—	—	70.3	69.3	63.3	68.4	70.9	72.6	78.3
	昨年度	—	—	70.9	69.5	66.3	70.8	68.9	73.4	76.7
ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。	今年度	—	—	77.4	75.3	73.5	77.4	77.5	77.9	83.9
	昨年度	—	—	77.6	76.3	76.0	79.4	75.5	80.0	83.9
授業を集中して受けている。	今年度	—	—	88.5	89.4	87.2	89.1	87.3	86.1	89.3
	昨年度	—	—	89.2	91.0	90.7	90.7	86.9	86.7	89.2

- 話し方、聞き方の基本に関する「先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 92%以上である。
- 「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 77%以上である。
- 深い学びの視点に関する「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」、「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」の設問に肯定的に回答した割合は、小5以降では学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。

③ 学習に対する気持ちや態度について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	今年度	88.0	80.0	81.5	80.3	76.1	76.3	70.6	65.9	76.4
	昨年度	87.9	78.7	81.8	79.0	77.7	78.1	69.7	67.1	78.7
将来の進路や職業についての希望を持って学習している。	今年度	—	—	83.3	81.2	76.6	75.0	64.4	65.2	77.2
	昨年度	—	—	82.7	82.1	76.3	76.2	64.8	65.9	78.0
学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	今年度	80.4	82.0	92.1	91.2	89.3	89.9	86.0	82.6	85.9
	昨年度	80.9	80.9	91.8	91.7	90.9	90.9	85.4	83.3	86.2
学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい。	今年度	95.3	96.0	94.1	94.0	91.9	92.7	92.1	90.5	93.0
	昨年度	95.9	96.2	94.5	94.7	93.7	93.3	90.0	90.9	92.5
学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う。	今年度	—	—	96.4	97.5	96.1	96.8	95.4	92.8	92.5
	昨年度	—	—	96.6	97.4	97.0	97.5	94.7	93.1	92.6

- 「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では76%以上、中学校では65%以上である。
- 「学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で90%以上である。
- 「学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で92%以上である。

④ 学習の仕方について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている。	今年度	82.5	77.7	78.6	78.1	75.5	78.9	76.3	70.5	71.8
	昨年度	85.2	80.2	77.6	78.2	78.3	79.0	74.9	72.8	70.6
新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	今年度	82.5	79.0	65.4	59.4	52.0	52.9	56.2	52.2	65.7
	昨年度	85.6	75.1	68.0	58.8	55.4	57.6	54.4	54.3	66.1
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	今年度	—	—	75.1	69.3	62.3	67.1	62.8	57.7	70.0
	昨年度	—	—	74.4	69.9	64.7	69.0	59.9	61.6	70.5
本を利用して、学習に関する情報を得ている。	今年度	—	—	68.4	65.7	60.0	57.3	36.2	30.2	35.7
	昨年度	—	—	69.8	64.9	61.1	58.1	36.4	33.8	36.2
インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている。	今年度	—	—	76.2	81.8	85.3	90.7	80.6	77.1	83.9
	昨年度	—	—	75.9	81.2	86.9	90.4	78.4	79.4	82.3
インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任を持って情報を発信している。	今年度	—	—	—	—	86.6	90.5	91.4	90.2	94.0
	昨年度	—	—	—	—	86.2	91.1	88.2	90.2	93.0
パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる。	今年度	—	—	75.3	88.7	93.9	97.3	97.9	98.0	98.0
	昨年度	—	—	77.2	88.1	94.9	97.5	97.5	97.8	97.0
調べたことをパソコンを使ってまとめることができる。	今年度	—	—	73.6	85.2	90.5	94.3	94.2	94.1	94.5
	昨年度	—	—	72.9	83.3	90.9	94.2	93.8	94.0	92.9
パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。	今年度	—	—	71.1	78.1	83.6	89.0	86.8	87.0	89.3
	昨年度	—	—	69.2	76.9	83.9	88.7	86.2	86.6	85.8

○ 「インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で76%以上であり、小・中学校ともに最終学年の小6、中3が高い傾向にある。

○ 「インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任を持って情報を発信している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で86%以上である。

○ パソコンの活用に関する「パソコンのキーボードを使って、文章を入力することができる」、「調べたことをパソコンを使ってまとめることができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では73%以上、中学校では94%以上である。また、「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では71%以上、中学校では86%以上である。

⑤ 家庭での学習について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学校から、家庭学習に必要な教科書などの学習用具を持ち帰っている。	今年度	94.3	93.5	88.9	90.5	89.6	90.0	87.8	82.6	86.2
	昨年度	94.6	94.5	90.6	91.4	90.4	90.9	85.9	83.2	86.3
宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	今年度	95.7	95.7	88.5	88.3	86.7	87.0	81.2	81.1	82.6
	昨年度	95.9	95.6	88.5	90.0	87.5	88.8	80.6	78.6	83.4
授業で習ったことを、その日のうちに復習している。	今年度	—	—	55.3	50.9	42.3	38.8	40.0	32.0	37.6
	昨年度	—	—	58.4	50.0	45.4	45.5	40.3	34.3	41.2
自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	今年度	—	—	66.1	65.2	60.3	62.7	56.5	49.5	62.5
	昨年度	—	—	67.1	64.2	64.8	66.6	56.6	52.6	62.3
テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	今年度	—	—	78.6	74.5	63.3	65.9	72.4	65.3	72.7
	昨年度	—	—	77.5	72.1	68.8	69.6	70.5	67.7	73.1
前の日のうちに、次の日の学校の用意をしている。	今年度	84.7	82.9	84.9	84.9	82.7	82.3	77.4	72.0	71.9
	昨年度	86.5	83.7	85.1	87.2	85.3	84.6	77.1	73.3	71.9
家の人は、あなたの学習に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	今年度	—	—	88.8	89.2	87.6	86.9	84.7	82.1	85.1
	昨年度	—	—	89.0	88.9	87.8	87.5	82.5	81.1	82.5
平日の学習時間(塾や家庭教師も含む)(平均値)	今年度	44分	47分	48分	54分	58分	1時間7分	1時間13分	1時間12分	2時間19分
	昨年度	45分	46分	51分	52分	1時間1分	1時間9分	1時間15分	1時間13分	2時間21分
休日の学習時間(塾や家庭教師も含む)(平均値)	今年度	34分	35分	39分	45分	49分	1時間1分	1時間15分	1時間14分	2時間41分
	昨年度	36分	34分	43分	44分	53分	1時間4分	1時間23分	1時間18分	2時間43分

○ 「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では60%以上、中学校では49%以上である。

○ 平日・休日の学習時間については、例年同様、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。小学校では休日より平日の学習時間が長く、中学校では平日より休日の学習時間が長い。

⑥ 世の中のことへの興味・関心について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	今年度	—	—	69.7	71.5	65.3	66.7	60.1	58.6	68.9
	昨年度	—	—	70.5	71.5	64.1	68.2	58.4	63.2	67.4
社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	今年度	—	—	74.4	74.8	68.8	72.5	63.7	59.8	71.1
	昨年度	—	—	73.6	76.3	71.0	72.1	62.5	65.2	70.9
ふだんから、『ふしぎだな』『なぜだろう』と感じることがある。	今年度	64.7	61.9	86.8	88.2	86.6	87.7	83.5	80.7	85.3
	昨年度	64.9	61.9	86.2	87.9	87.3	87.3	83.5	83.6	85.9
地域のお祭りに進んで参加したり、コンサートや演劇、絵画を鑑賞したりするなど、文化や芸術に触れる機会がある。	今年度	—	—	72.9	69.4	66.3	64.3	59.1	54.5	56.5
	昨年度	—	—	72.5	65.8	64.2	61.5	54.1	55.7	55.1
様々な人の生き方に感動することがある。	今年度	—	—	72.2	72.6	73.6	76.6	75.2	73.6	80.2
	昨年度	—	—	73.6	72.3	74.9	77.4	72.1	78.0	79.3
いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	今年度	92.8	91.4	85.4	83.7	77.2	75.2	72.5	68.9	74.0
	昨年度	93.2	91.3	86.3	85.0	78.0	77.4	72.7	73.5	75.0

- 社会の出来事への関心や態度に関する「社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では 65%以上、中学校では 58%以上である。また、「社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では 68%以上、中学校では 59%以上である。
- 「ふだんから、『ふしぎだな』『なぜだろう』と感じることがある」の設問に肯定的に回答した割合は、小2と小3の間で 24.9 ポイント差と大きく増加している。
- 「地域のお祭りに進んで参加したり、コンサートや演劇、絵画を鑑賞したりするなど、文化や芸術に触れる機会がある」の設問に肯定的に回答した割合は、中2を除いて昨年度よりも増加している。

2) 生活について

① 毎日の生活について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
家の人にあいさつをしていますか。	今年度	89.9	90.7	91.6	93.4	93.5	94.0	94.4	93.4	94.6
	昨年度	89.4	91.0	91.3	94.0	94.8	94.9	93.4	95.0	93.3
学校で、先生や友だちなどにあいさつをしていますか。	今年度	90.7	91.4	90.7	91.9	92.8	95.2	97.3	97.0	97.3
	昨年度	90.9	91.1	92.0	92.7	94.7	95.9	96.8	96.9	97.3
地域で、知っている人などにあいさつをしていますか。	今年度	80.5	82.6	84.1	85.3	83.6	86.5	86.2	84.3	84.1
	昨年度	82.9	83.3	83.3	85.7	86.2	88.4	84.1	84.4	85.0
学校生活に満足していますか。	今年度	89.9	90.6	85.5	85.2	86.0	88.4	88.9	85.3	89.3
	昨年度	90.9	90.5	87.0	87.3	87.7	89.7	86.0	85.7	87.2
学校のきまりやマナーを守っていますか。	今年度	92.6	92.5	92.4	92.7	90.9	92.8	94.9	94.7	96.6
	昨年度	93.5	90.9	92.4	93.3	93.3	94.6	95.1	94.7	96.4
社会生活のルールや公共の場所でのマナーを守っていますか。	今年度	—	—	94.4	96.0	96.9	98.0	98.8	98.5	98.8
	昨年度	—	—	95.4	96.5	97.5	98.3	98.5	98.4	98.8
平日、1日に本を読む時間(教科書やまんがはのぞく)(平均値)	今年度	32分	31分	28分	28分	24分	22分	20分	20分	19分
	昨年度	35分	30分	29分	27分	24分	23分	22分	21分	20分
休日、1日に本を読む時間(教科書やまんがはのぞく)(平均値)	今年度	29分	29分	28分	28分	24分	22分	17分	16分	14分
	昨年度	33分	28分	29分	26分	25分	24分	20分	17分	15分
平日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	今年度	56分	1時間5分	1時間16分	1時間27分	1時間37分	1時間46分	1時間41分	1時間41分	1時間34分
	昨年度	59分	1時間8分	1時間19分	1時間30分	1時間43分	1時間52分	1時間59分	2時間3分	1時間54分
休日、1日に「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間(平均値)	今年度	1時間8分	1時間21分	1時間35分	1時間51分	2時間5分	2時間14分	2時間19分	2時間19分	2時間8分
	昨年度	1時間11分	1時間22分	1時間36分	1時間52分	2時間11分	2時間19分	2時間36分	2時間41分	2時間31分
平日に寝る時刻(平均値)	今年度	9時4分	9時4分	9時11分	9時25分	9時42分	9時58分	10時34分	11時0分	11時34分
	昨年度	9時0分	9時3分	9時14分	9時25分	9時43分	9時59分	10時40分	11時4分	11時39分
平日に起きる時刻(平均値)	今年度	6時8分	6時16分	6時17分	6時21分	6時25分	6時25分	6時28分	6時35分	6時43分
	昨年度	6時7分	6時17分	6時19分	6時22分	6時23分	6時23分	6時26分	6時35分	6時42分

- あいさつに関する設問では、肯定的に回答した割合は、先生や友だちで 90% 台、家の人、地域で 80% 台である。特に、「学校で、先生や友だちなどにあいさつをしていますか」の設問に肯定的に回答した割合は、中学校では 97% 以上である。
- きまりに関する設問では、学校のきまりやマナー、社会生活のルールや公共の場所でのマナーともに、肯定的に回答した割合は、すべての学年で 90% 以上である。
- 平日・休日における 1 日の読書時間は 14 分～32 分であり、学年が上がるにつれて短くなる傾向が見られる。
- 1 日にテレビや動画を視聴したり、ゲームをしたりする時間は、小学校では、平日よりも休日で長くなるとともに、平日、休日ともに学年が上がるにつれて長くなる傾向が見られる。
- 平日の就寝時刻は、学年が上がるにつれて遅くなり、特に、小 6 と中 1 の間、中 2 と中 3 の間で大きく変化している。すべての学年の中で、中 3 が午後 11 時 34 分と最も遅く、平日の起床時刻も、中 3 が午前 6 時 43 分と最も遅い。

② 自分自身のことについて

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
将来の夢や目標を持っている。	今年度	90.4	89.1	89.3	87.6	84.2	79.8	71.3	69.0	73.9
	昨年度	88.6	89.2	90.2	89.1	82.1	80.0	69.6	69.0	74.0
自分のよさを人のために生かしたいと思う。	今年度	87.9	85.8	86.8	84.1	86.1	87.3	85.9	85.2	88.8
	昨年度	88.5	84.3	86.0	85.0	86.3	88.0	84.3	86.2	89.2
自分で決めたことは最後まで努力している。	今年度	92.6	90.0	85.6	83.6	84.0	84.3	83.8	81.5	84.2
	昨年度	92.6	89.8	84.9	85.6	83.3	85.9	81.3	81.7	84.9
自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	今年度	—	—	87.9	88.2	88.3	90.8	90.9	90.1	92.6
	昨年度	—	—	87.9	88.9	89.2	91.7	88.8	90.5	91.3
学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる。	今年度	—	—	89.3	90.2	90.5	92.0	92.7	90.6	93.6
	昨年度	—	—	90.7	91.2	91.6	92.9	91.6	92.4	93.6
助け合ったり協力し合ったりすることは大切だと思う。	今年度	98.0	97.9	97.0	97.9	97.9	98.1	98.4	97.8	98.7
	昨年度	98.0	98.5	97.5	98.0	98.1	98.5	97.9	98.1	98.0
働くことや人のために役立つことは大切だと思う。	今年度	97.9	98.4	97.4	98.0	97.9	97.8	98.2	97.9	98.2
	昨年度	97.8	98.8	97.1	97.8	98.0	98.1	97.6	98.2	97.7

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
時と場に応じたことばづかいに気をつけている。	今年度	88.9	86.4	86.3	86.3	83.0	84.1	94.8	95.6	97.0
	昨年度	90.1	85.4	86.5	87.0	85.9	85.8	94.3	96.3	97.1
あいさつや返事をすることは、必要だと思う。	今年度	97.7	98.2	97.1	97.5	97.7	98.0	98.2	98.4	98.7
	昨年度	97.7	98.2	97.7	98.2	98.0	98.4	98.4	98.4	98.6
学校のきまりやマナーを守ることは大切だと思う。	今年度	98.3	98.7	97.0	97.6	97.8	97.7	97.9	97.2	97.8
	昨年度	98.4	99.0	97.3	98.5	98.2	98.3	97.5	97.1	97.5
友だちの人権や気持ちを考えて行動している。	今年度	—	—	92.3	92.9	93.5	95.0	96.0	95.8	97.4
	昨年度	—	—	92.4	93.5	94.7	95.5	95.5	96.6	96.8
誰に対しても、思いやりの心を持って接している。	今年度	93.5	91.2	89.5	89.3	89.3	89.8	91.9	90.1	92.9
	昨年度	93.6	91.5	90.2	90.0	89.4	92.1	90.3	91.9	93.6
命は、何よりも大切であると思う。	今年度	98.3	98.4	98.0	97.9	97.9	96.7	97.0	96.3	96.0
	昨年度	98.5	98.4	97.6	97.7	97.6	97.5	95.5	96.4	96.0
お年寄りに感謝の気持ちを持っている。	今年度	96.5	96.5	94.8	94.3	93.3	90.6	90.6	88.1	87.6
	昨年度	96.4	96.8	95.3	95.2	93.2	92.8	89.3	89.8	88.0
お年寄りの役に立ちたいと思う。	今年度	95.2	95.0	93.2	92.9	89.8	87.5	86.5	83.5	83.0
	昨年度	95.6	95.6	93.2	92.5	89.6	89.0	84.2	85.1	84.5
今の生活や将来に、なやみや不安がある。	今年度	—	—	52.9	50.3	44.5	51.3	50.3	59.6	63.9
	昨年度	—	—	55.1	50.8	45.6	48.3	57.7	64.8	67.4
中学校の学習や生活が楽しみである。	今年度	—	—	—	—	73.6	76.2	—	—	—
	昨年度	—	—	—	—	73.2	78.6	—	—	—
宇都宮市の「よさ」を紹介することができる。	今年度	—	—	74.3	78.6	79.2	78.5	71.3	68.1	71.2
	昨年度	—	—	74.0	80.1	75.9	79.1	66.2	68.2	67.1
他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	今年度	—	—	84.8	85.2	76.4	83.0	81.5	81.9	87.7
	昨年度	—	—	84.5	84.5	75.1	83.0	79.8	84.1	86.8

○ 「自分のよさを人のために生かしたいと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で84%以上である。

- 望ましい集団の在り方や自分の役割に関する「学校での役割や係の仕事に責任を持って取り組んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 89%以上である。また、「助け合ったり協力し合ったりすることは大切だと思う」、「働くことや人のために役立つことは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 97%以上である。
- 規範意識に関する「あいさつや返事をすることは、必要だと思う」、「学校のきまりやマナーを守ることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 97%以上である。
- 「友だちの人権や気持ちを考えて行動している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 92%以上であり、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られる。
- 「宇都宮市の『よさ』を紹介することができる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では 74%以上、中学校では 68%以上である。
- 「他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 76%以上である。

③ 友だちのことについて

(単位：%)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
困っている友だちに、自分から進んで手助けをしている。	今年度	91.4	91.9	91.8	92.2	91.3	91.9	93.8	91.5	92.7
	昨年度	91.8	91.6	92.7	92.2	92.0	93.2	90.5	90.4	92.1
自分の気持ちを理解し、なやみごとなどを相談できる友だちがいる。	今年度	—	—	88.0	87.8	85.6	86.2	87.6	86.8	87.4
	昨年度	—	—	87.3	88.2	86.5	87.1	85.6	85.8	86.2
友だちから、親切にされたことがある。	今年度	91.2	93.8	92.7	95.4	96.5	97.8	97.9	98.1	98.7
	昨年度	91.8	94.3	92.5	95.8	96.6	97.6	97.6	97.9	98.1
友だちといっしょに過ごすことは楽しい。	今年度	97.5	97.7	96.8	96.9	97.6	97.5	98.2	98.0	98.4
	昨年度	97.8	97.9	96.9	97.1	97.3	97.4	97.4	97.7	97.3
人の悪口を言ったり無視したりすることはいけないと思う。	今年度	97.0	97.9	96.7	96.9	96.2	96.1	96.7	95.6	96.0
	昨年度	97.5	98.4	96.6	96.7	96.9	97.2	96.2	96.1	96.1

- 「困っている友だちに、自分から進んで手助けをしている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 91%以上である。
- 「友だちといっしょに過ごすことは楽しい」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 96%以上である。
- 「人の悪口を言ったり無視したりすることはいけないと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 95%以上である。

④ 家の人や先生について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
なやみごとなどを相談できる大人(家の人や先生など)がいる。	今年度	93.4	94.2	93.1	93.4	92.4	90.3	89.1	86.2	86.2
	昨年度	93.5	94.4	93.6	93.9	91.1	91.6	88.5	85.4	85.0
学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	今年度	—	—	79.3	78.6	76.3	77.7	73.7	79.1	82.9
	昨年度	—	—	80.5	79.7	77.1	77.4	73.5	80.4	81.8
家の人といっしょに過ごすことは楽しい。	今年度	97.1	97.6	96.8	96.6	95.6	92.5	90.6	87.8	89.1
	昨年度	97.4	97.8	96.1	95.9	93.9	94.0	88.9	89.0	87.4
学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立てた目標を達成できるように家の人に応援してくれる。	今年度	—	—	89.6	91.5	91.5	92.3	92.2	91.1	92.9
	昨年度	—	—	88.5	90.8	90.8	92.6	90.7	90.7	91.8
家的人是、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる。	今年度	—	—	93.3	94.7	94.5	93.7	92.3	90.2	91.7
	昨年度	—	—	93.5	94.8	93.8	94.0	91.5	91.6	90.3
先生は、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる。	今年度	—	—	93.5	94.1	92.9	92.5	93.8	90.2	93.1
	昨年度	—	—	94.8	95.2	93.2	94.6	92.2	92.4	91.6
いえの人は、あいさつやへんじをすることの大せつさをおしえてくれますか。	今年度	84.6	85.6	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	86.1	86.3	—	—	—	—	—	—	—
家的人是、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	今年度	—	—	91.9	92.1	92.9	93.1	93.3	90.9	92.5
	昨年度	—	—	92.5	92.7	92.4	93.4	90.6	91.5	91.3

- 「なやみごとなどを相談できる大人(家の人や先生など)がいる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では90%以上、中学校では86%以上である。
- 「家の人といっしょに過ごすことは楽しい」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では92%以上、中学校では87%以上である。
- 児童生徒を認め励ます指導に関する「学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立てた目標を達成できるように家の人に応援してくれる」、「家的人是、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる」、「先生は、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では89%以上、中学校では90%以上である。
- 「家的人是、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で90%以上である。

⑤ 家での過ごし方について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
本や新聞を読んでいる。	今年度	72.4	69.4	61.4	59.2	49.3	44.8	36.2	33.8	33.1
	昨年度	74.0	70.5	63.1	58.6	50.6	47.4	39.8	36.5	35.4
家の手伝いをしている。	今年度	89.4	84.3	77.4	79.3	77.3	75.3	70.5	68.9	68.6
	昨年度	89.1	85.0	78.4	78.3	78.2	76.8	68.9	70.2	69.5
朝、自分で起きることができる。	今年度	58.7	57.8	64.8	66.3	65.0	68.7	69.7	69.4	72.3
	昨年度	63.9	60.8	64.4	67.2	67.5	69.6	68.9	69.0	71.9
夜は決まった時間に寝ている。	今年度	73.1	69.8	69.8	66.8	62.0	64.3	58.7	59.8	59.2
	昨年度	76.5	71.6	71.2	70.9	63.7	65.0	58.4	58.9	58.4
地域での活動(子ども会や育成会の行事など)に参加している。	今年度	67.9	68.3	63.4	59.2	56.3	52.9	36.7	28.6	25.7
	昨年度	66.4	65.6	64.0	58.9	56.6	53.9	33.9	31.1	27.5

○ 「本や新聞を読んでいる」の設問に肯定的に回答した割合は、学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。また、小4を除いて昨年度よりも減少している。

○ 「地域での活動(子ども会や育成会の行事など)に参加している」の設問に肯定的に回答した割合は、小1、小2、小4、中1では昨年度よりも増加している。

⑥ スマートフォンや携帯電話について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
自分のスマートフォンや携帯電話を持っていますか。	今年度	27.6	29.6	38.9	49.2	62.2	68.6	87.2	89.2	90.5
	昨年度	26.2	30.2	38.2	49.7	57.3	64.9	83.3	86.9	88.5
見てはいけないサイトにつながらなくなるように、フィルタリングをしたり、キッズケータイ [®] を使ったりしている。	今年度	74.1	70.6	68.5	73.2	75.0	77.2	76.2	73.6	65.0
	昨年度	73.5	71.5	68.3	73.4	77.2	77.9	75.9	69.7	63.4
スマートフォンや携帯電話を使うときのルールを、家の人と決めている。	今年度	79.2	80.2	79.4	82.5	82.7	83.9	82.7	77.5	71.5
	昨年度	78.9	79.9	77.6	83.1	83.2	83.2	79.3	74.5	71.2
名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を、誰でも見られるサイトやSNSに書き込まないようにしている。	今年度	82.6	90.4	88.3	91.8	94.4	95.4	96.3	95.7	95.8
	昨年度	81.7	89.4	85.7	92.4	94.2	95.6	95.3	94.3	94.8
平日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間(平均値)	今年度	47分	1時間5分	1時間4分	1時間14分	1時間24分	1時間39分	1時間58分	2時間7分	2時間3分
	昨年度	44分	40分	51分	50分	52分	1時間6分	1時間24分	1時間31分	1時間29分
平日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻(平均値)	今年度	8時1分	8時8分	8時14分	8時29分	8時45分	9時7分	9時52分	10時19分	10時49分
	昨年度	8時3分	7時55分	8時14分	8時19分	8時35分	9時2分	9時51分	10時23分	10時47分

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
休日、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平均値）	今年度	55分	1時間13分	1時間17分	1時間29分	1時間41分	1時間58分	2時間30分	2時間40分	2時間35分
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
休日の夜、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平均値）	今年度	8時8分	8時11分	8時21分	8時38分	8時56分	9時20分	10時5分	10時30分	10時57分
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
家の人はあなたがスマートフォンや携帯電話をどのように使っているかチェックしていますか。	今年度	70.3	74.0	72.7	72.5	70.7	70.4	69.3	61.4	50.9
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
LINE®やInstagram®などのSNSでうまく思いが伝わらず、嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさせてしまったりしたことはありますか。	今年度	77.1	86.3	86.4	88.6	85.7	83.1	83.6	81.9	81.3
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- スマートフォンや携帯電話の所持率は、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られ、小5以降では60%を超え、中1、中2では80%台、中3では90%台である。
- 「名前や顔写真、電話番号、メールアドレスなどの個人情報を、誰でも見られるサイトやSNSに書き込まないようにしている」の設問に肯定的に回答した割合は、小1、小3では80%台、小2、小4～小6では90%台、中学校では95%以上である。
- 平日のスマートフォンや携帯電話の利用時間の平均は、小3以降で増加する傾向が見られ、小学校では47分～1時間39分、中学校では1時間58分～2時間7分である。休日では、学年が上がるにつれて増加する傾向が見られ、小学校では55分～1時間58分、中学校では2時間30分～2時間40分である。平日・休日とも、小6と中1の間で大きな増加が見られる。
- 平日の夜にスマートフォンや携帯電話の使用を終了する時刻の平均は、小1～小5では午後8時台、小6、中1では午後9時台、中2、中3では午後10時台である。休日では、小1～小5では午後8時台、小6では午後9時台、中1以降では午後10時台である。
- 「家の人はあなたがスマートフォンや携帯電話をどのように使っているかチェックしていますか」の設問に肯定的に回答した割合は、小1～小6では70%台、中1、中2では60%台、中3では50%台である。
- 「LINE®やInstagram®などのSNSでうまく思いが伝わらず、嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさせてしまったりしたことはありますか」の設問に肯定的に回答した割合は、小1では70%台、小2以降では80%台である。

⑦ 体力について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
運動をすることは大切だと思う。	今年度	97.6	98.1	97.3	97.8	97.7	97.6	98.0	97.6	98.2
	昨年度	97.6	98.5	97.0	97.7	97.6	97.8	97.7	98.2	98.1
休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしている。	今年度	77.2	76.0	78.2	78.3	70.4	65.4	65.3	61.7	53.4
	昨年度	79.0	77.4	78.6	77.1	73.0	67.7	62.4	61.3	55.2
健康や体力に自信があると思う。	今年度	88.0	82.9	80.9	75.6	66.4	62.9	59.7	56.6	54.5
	昨年度	87.2	81.6	81.6	75.8	68.4	63.1	59.1	58.5	55.7

- 「運動をすることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 97% 以上である。
- 「休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしている」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では 60% 台～70% 台、中学校では 50% 台～60% 台であり、小 4 以降では学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。
- 「健康や体力に自信があると思う」の設問に肯定的に回答した割合は、学年が上がるにつれて減少する傾向が見られ、中学校では 50% 台である。

⑧ 健康や食事について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
早寝、早起きを心がけている。	今年度	74.5	74.1	82.4	79.5	73.8	71.4	66.0	62.3	60.5
	昨年度	77.1	75.0	80.6	79.5	74.1	73.9	64.2	63.2	63.1
健康診断で指摘されたところは、早めに治療している。	今年度	—	—	—	—	86.5	88.7	88.9	87.6	89.4
	昨年度	—	—	—	—	87.8	90.5	89.3	88.9	90.2
歯みがきをしていますか。	今年度	95.0	96.7	96.9	98.2	98.7	99.2	98.6	98.4	98.7
	昨年度	95.7	96.8	96.8	98.1	98.4	98.9	98.8	98.9	98.9
毎日、朝食を食べていますか。	今年度	95.4	95.6	94.5	94.8	94.7	92.5	92.9	91.8	91.0
	昨年度	95.9	95.7	95.1	95.0	94.5	94.2	92.3	92.1	90.9
好ききらいをしないで食べていますか。 (きらいなものでも1口は食べている。)	今年度	86.6	88.4	85.0	87.0	85.4	87.3	84.6	85.8	85.4
	昨年度	87.4	88.3	84.8	86.5	88.0	87.8	85.3	84.5	85.0
朝食は家の人といっしょに食べている。	今年度	71.4	68.6	74.2	71.2	67.1	66.2	60.1	56.9	54.7
	昨年度	72.5	69.7	75.2	72.0	68.7	67.2	59.3	56.5	52.5
夕食は家の人といっしょに食べている。	今年度	93.2	92.9	92.3	93.6	92.9	91.8	89.9	87.5	83.8
	昨年度	93.6	92.6	93.1	93.8	92.8	91.8	89.9	88.9	83.4
食事のときには、「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。	今年度	91.2	90.9	92.8	94.4	93.3	94.0	93.4	94.3	94.3
	昨年度	90.9	91.7	92.4	93.4	94.1	94.4	93.3	93.6	93.3
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)に気をつけて食べている。	今年度	88.3	86.2	88.9	89.5	86.2	89.5	90.1	91.1	92.6
	昨年度	88.8	86.3	87.7	87.9	88.6	89.5	89.4	90.5	92.3
食事のマナー(おはしの使い方、姿勢など)を守って食べることは大切だと思う。	今年度	96.7	97.3	96.2	96.9	96.5	97.0	96.7	96.3	97.1
	昨年度	97.8	98.0	95.3	96.8	96.5	96.7	96.1	95.9	97.1
3食きちんと食べることは大切だと思う。	今年度	98.0	98.9	97.0	97.2	97.2	97.0	97.5	96.7	97.2
	昨年度	98.5	98.9	96.7	97.4	97.7	97.6	96.6	96.8	96.5
栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う。	今年度	—	—	96.9	97.5	97.1	97.8	97.8	98.0	98.3
	昨年度	—	—	96.3	97.4	97.5	98.0	97.8	98.0	98.2
食品に表示されている原材料や消費期限などについて関心がある。	今年度	—	—	—	—	83.5	83.8	79.7	76.3	81.8
	昨年度	—	—	—	—	84.4	85.1	77.9	79.0	82.3
食品の品質や安全性を考えて、食材を選んでいる。	今年度	—	—	—	—	84.4	85.8	83.7	81.5	83.1
	昨年度	—	—	—	—	84.4	86.0	82.3	80.9	83.7
お正月に食べるおせちなどの行事食(季節の行事やお祝いの日)に食べる料理)や、しもつかねなどの郷土料理を知っている。	今年度	—	—	—	—	87.9	91.2	89.7	90.0	91.7
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
地域で生産された野菜や果物などを、選んで食べることは大切だと思う。	今年度	95.1	95.9	93.4	92.4	90.3	88.4	85.2	84.4	86.7
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
家の人は、あなたの食生活に関心があり、朝食をしっかり食べることなど、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	今年度	—	—	88.2	89.0	88.4	88.5	86.8	83.4	84.9
	昨年度	—	—	89.5	89.3	84.2	86.7	81.1	82.1	81.7
未成年者は、飲酒してはいけないと思う。	今年度	94.0	96.4	96.3	97.9	97.7	97.3	98.0	97.5	98.0
	昨年度	94.7	96.7	96.5	97.3	97.9	97.6	97.6	97.9	97.4
健康のため、たばこはすうべきではないと思う。	今年度	95.5	97.1	96.8	97.6	97.6	97.1	97.9	97.5	98.0
	昨年度	96.2	97.8	96.4	97.4	98.0	97.8	97.5	97.6	97.6
麻薬、覚せい剤など薬物は使ってはいけないと思う。	今年度	—	—	—	—	98.3	98.8	99.0	98.7	99.1
	昨年度	—	—	—	—	98.5	98.7	99.0	98.8	98.5
性について学ぶことは大切だと思う。	今年度	—	—	86.3	85.5	91.7	89.2	90.3	92.0	96.2
	昨年度	—	—	88.0	85.6	91.6	90.5	90.7	93.1	95.6

- 「早寝、早起きを心がけている」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では 70%台～80%台、中学校では 60%台であり、小3以降では学年が上がるにつれて減少する傾向が見られる。
- 「歯みがきをしていますか」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 95%以上である。
- 食事のマナーに関する「食事のマナー（おはしの使い方、姿勢など）に気をつけて食べている」の設問に肯定的に回答した割合は、小学校では 80%台、中学校では 90%台である。また、「食事のマナー（おはしの使い方、姿勢など）を守って食べることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 96%以上である。
- 「栄養バランスを考えて食べることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 96%以上である。
- 「お正月に食べるおせちなどの行事食（季節の行事やお祝いの日食べる料理）や、しもつかれなどの郷土料理を知っている」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 87%以上である。
- 「地域で生産された野菜や果物などを、選んで食べることは大切だと思う」の設問に肯定的に回答した割合は、小1～小5では 90%台、小6以降では 80%台である。

⑨ 安全について

(単位：％)

設問内容		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている。	今年度	98.2	98.1	97.8	98.5	98.1	98.5	98.4	98.7	98.7
	昨年度	98.3	97.9	97.8	98.4	98.7	98.3	97.8	97.0	97.9
不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている。	今年度	98.0	98.0	96.4	96.8	96.2	96.0	95.6	94.7	95.2
	昨年度	98.2	98.3	96.9	96.9	96.8	96.5	93.7	94.3	95.1
自分や身の周りの人々の安全に気を配り、安全に行動している。	今年度	98.2	97.7	94.7	95.9	95.6	96.8	97.4	96.7	97.7
	昨年度	97.6	97.5	95.1	95.9	96.7	97.0	95.6	96.4	97.2

- 安全に関する「交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている」、「不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている」、「自分や身の周りの人々の安全に気を配り、安全に行動している」の設問に肯定的に回答した割合は、すべての学年で 94%以上である。

正答率とアンケート結果の一体的分析

結 果 報 告

4. 正答率と相関のある指導の分析

(1) 小学校第6学年結果分析

1) 学習について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(6)ア⑤	自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	82.7	71.8	66.7	56.6	26.1	68.4
問1(6)ウ③	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	79.4	69.7	66.0	55.6	23.8	67.1
問1(6)オ⑥	いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	86.9	77.6	72.7	65.1	21.8	75.2
問1(6)エ②	宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	96.4	91.0	87.7	78.0	18.3	87.0
問1(6)エ④	自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	72.5	63.5	63.8	54.5	17.9	62.7
問1(6)エ⑤	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	74.9	66.5	66.3	57.0	17.9	65.9
問1(6)ウ②	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	63.2	54.3	50.3	45.5	17.7	52.9
問1(6)イ①	学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	84.7	79.2	75.4	68.0	16.6	76.3
問1(6)ウ⑨	パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。	96.5	94.3	88.8	80.0	16.4	89.0
問1(6)オ②	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	80.0	74.3	73.1	64.8	15.2	72.5

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

○ 小6において、問1(6)(学習についての設問のうち、教科についての意識及び時間についての設問を除く)の34問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(6)ウ(学習の仕方についての設問)、(6)エ(家庭での学習についての設問)が3問ずつなどであった。

○ A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）

- ・ 「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。」(+26.1ポイント)
- ・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」(+23.8ポイント)
- ・ 「いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。」(+21.8ポイント)

○ 正答率上位層の児童は、根拠に基づく話し方が身に付いており、学びを振り返り次の学習につなげたり、楽しんで読書をしたりするなど、主体的に学習に取り組んでいる傾向などが見られる。

2) 生活について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問2(10)エ①	本や新聞を読んでいる。	62.4	44.9	39.8	33.0	29.4	44.8
問3(1)	自分のスマートフォンやけいたい電話を持っていますか。	60.7	68.1	71.4	75.8	-15.1	68.6
問2(10)エ④	夜は決まった時間にねている。	71.0	67.3	63.5	56.8	14.2	64.3
問2(10)ア⑯	他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	88.3	83.7	85.9	76.6	11.7	83.0
問2(10)エ⑤	地いきでの活動(子ども会や育成会の行事など)に参加している。	60.3	54.7	48.3	49.0	11.3	52.9
問2(10)エ③	朝、自分で起きることができる。	73.5	70.1	70.7	62.4	11.1	68.7
問2(10)ア⑰	中学校の学習や生活が楽しみである。	80.7	77.3	76.2	71.9	8.9	76.2
問2(10)ア⑤	学校での役わりや係の仕事に責任を持って取り組んでいる。	96.5	93.4	92.6	88.1	8.4	92.0
問2(10)ウ②	学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	81.9	77.6	77.2	74.5	7.4	77.7
問2(10)ア④	自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	94.3	92.8	91.4	87.0	7.3	90.8

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

○ 小6において、問2（毎日の生活についての設問のうち、時間についての設問を除く）・問3（1）（スマートフォン等の所持についての設問）の43問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(10)ア（自分自身のことについての設問）、(10)エ（家での過ごし方についての設問）が4問ずつなどであった。

○ A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）

- ・ 「本や新聞を読んでいる。」（+29.4ポイント）
- ・ 「自分のスマートフォンやけいたい電話を持っていますか。」（-15.1ポイント）
- ・ 「夜は決まった時間にねている。」（+14.2ポイント）

○ 正答率上位層の児童は、本や新聞を読んだり、決まった時刻に就寝したりする習慣が身に付いていることが分かる。

3) 学習や生活の時間について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位5問）

設問番号	設問内容	平均値(時間 分)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問3(3)①	平日の、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平均値）	1時間2分	1時間30分	1時間49分	2時間4分	-1時間2分	1時間39分
問1(5)②	休日の、1日の学習時間（塾や家庭教師も含む）（平均値）	1時間37分	58分	52分	40分	57分	1時間
問3(4)①	休日の、1日にスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平均値）	1時間23分	1時間54分	2時間6分	2時間20分	-57分	1時間58分
問3(4)②	休日の夜の、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平均値）	8時50分	9時13分	9時28分	9時43分	-53分	9時20分
問3(3)②	平日の夜の、スマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平均値）	8時44分	8時59分	9時11分	9時27分	-43分	9時7分

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、学習や生活の時間についての設問の12問のうち、A層－D層の差が大きかった上位5問の内訳を見ると、1日のスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平日：－1時間2分、休日：－57分）、1日の学習時間（休日：＋57分）、夜のスマートフォンや携帯電話の使用終了時刻（平日：－43分、休日：－53分）であった。
- 休日の学習時間はA層で長く、平日・休日のスマートフォンや携帯電話の利用時間はD層で長い傾向が見られる。また、平日・休日の夜にスマートフォンや携帯電話の使用を終了する時刻はD層で遅い傾向が見られる。

(2) 中学校第3学年結果分析

1) 学習について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(6)ウ③	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	88.2	77.2	69.2	49.3	38.9	70.0
問1(6)ウ②	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	82.2	72.6	64.5	48.4	33.9	65.7
問1(6)エ⑤	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	88.6	78.7	72.2	55.8	32.8	72.7
問1(6)エ②	宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	94.1	89.2	85.2	66.1	28.0	82.6
問1(6)ア⑤	自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	91.3	82.6	78.3	64.6	26.8	78.3
問1(6)イ①	学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	88.4	81.8	75.9	62.7	25.7	76.4
問1(6)オ②	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	82.1	76.7	67.9	59.1	23.0	71.1
問1(6)オ⑥	いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	85.2	76.2	73.5	63.1	22.1	74.0
問1(6)エ④	自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	72.2	67.2	63.1	52.0	20.2	62.5
問1(6)オ①	社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	78.2	72.1	65.1	59.4	18.9	68.9

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

○ 中3において、問1(6)(学習についての設問のうち、教科についての意識及び時間についての設問を除く)の34問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(6)エ(家庭での学習についての設問)、(6)オ(世の中のことへの興味・関心についての設問)が3問ずつなどであった。

○ A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）

- ・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」(+38.9ポイント)
- ・ 「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。」(+33.9ポイント)
- ・ 「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。」(+32.8ポイント)

○ 正答率上位層の生徒は、学びを振り返り次の学習につなげたり、新しく習ったことを繰り返し練習したり、テストで間違えた問題をやり直したりするなど、主体的に学習に取り組んでいる傾向などが見られる。

2) 生活について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問2(10)エ①	本や新聞を読んでいる。	43.1	31.6	31.5	25.9	17.2	33.1
問2(10)ア⑩	他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	93.8	89.9	88.9	79.2	14.6	87.7
問2(10)ウ②	学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	88.5	84.5	83.6	75.4	13.1	82.9
問2(10)エ②	家の手伝いをしている。	62.3	66.3	70.8	74.5	-12.2	68.6
問2(10)エ④	夜は決まった時間に寝ている。	64.5	59.8	58.4	54.8	9.6	59.2
問2(10)ウ⑦	家の人は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	96.2	93.6	92.9	88.1	8.2	92.5
問2(10)ア④	自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	94.9	93.4	94.2	87.9	7.0	92.6
問2(10)ア⑪	宇都宮市の「よさ」を紹介することができる。	74.6	71.3	72.8	67.7	7.0	71.2
問2(10)ウ④	学習や運動、文化・芸術活動などで、自分が立てた目標を達成できるように家の人が応援してくれる。	95.2	94.7	94.8	88.4	6.8	92.9
問2(10)ウ⑤	家の人は、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる。	94.4	91.6	93.2	87.7	6.7	91.7

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

○ 中3において、問2（毎日の生活についての設問のうち、時間についての設問を除く）・問3（1）（スマートフォン等の所持についての設問）の42問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(10)ウ（家の人や先生についての設問）が4問、(10)ア（自分自身のことについての設問）、(10)エ（家での過ごし方についての設問）が3問ずつなどであった。

○ A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）

- ・ 「本や新聞を読んでいる。」（+17.2ポイント）
- ・ 「他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。」（+14.6ポイント）
- ・ 「学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。」（+13.1ポイント）

○ 正答率上位層の生徒は、本や新聞を読む習慣や、他国の人々や文化に親しみ、関心をもち、他国を尊重しようとする態度が身に付いている。また、学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話す頻度が高い傾向などが見られる。

3) 学習や生活の時間について

■ A層－D層の差が大きい設問（上位5問）

設問番号	設問内容	平均値(時間 分)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(5)②	休日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	3時間9分	2時間59分	2時間45分	2時間7分	1時間2分	2時間41分
問3(3)①	平日の、1日にスマートフォンや携帯電話 で電話やゲームをしたり、動画やインター ネットのサイトを見たり、SNSを利用した りする時間 (平均値)	1時間35分	1時間55分	2時間9分	2時間28分	-53分	2時間3分
問1(5)①	平日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	2時間41分	2時間32分	2時間23分	1時間55分	46分	2時間19分
問3(4)①	休日の、1日にスマートフォンや携帯電話 で電話やゲームをしたり、動画やインター ネットのサイトを見たり、SNSを利用した りする時間 (平均値)	2時間12分	2時間32分	2時間42分	2時間53分	-41分	2時間35分
問2(8)①	平日の、1日に「テレビ」、「タブレットやパ ソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりす る時間 (平均値)	1時間18分	1時間30分	1時間37分	1時間51分	-33分	1時間34分

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、
上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 中3において、学習や生活の時間についての設問の12問のうち、A層－D層の差が大きかった上位5問の内訳を見ると、1日の学習時間（平日：+46分、休日：+1時間2分）、1日のスマートフォンや携帯電話で電話やゲームをしたり、動画やインターネットのサイトを見たり、SNSを利用したりする時間（平日：-53分、休日：-41分）、1日の「テレビ」、「タブレットやパソコンの動画」を見たり、ゲームをしたりする時間（平日：-33分）であった。
- 平日・休日の学習時間はA層で長く、平日・休日のスマートフォンや携帯電話の利用時間、平日のテレビ、動画視聴、ゲーム時間はD層で長い傾向が見られる。

(3) 考察及び指導の工夫・改善策

小 学 校

○ 正答率が高い児童の方が、以下の点について肯定的に回答している傾向が見られる。

授業での学習等

- ・ 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・ 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。

⇒ 言語活動の質的向上を図るとともに、基本的な学習内容の確実な定着を図る。

- ・ 説明の場面では、「つまり」、「例えば」などの思考に関わる言葉を使うなど、根拠を挙げながら話すことのよさを実感できるよう指導する。
- ・ 主体的に学習に取り組むことができるよう、実社会や実生活に関連した課題を取り上げたり、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題にじっくり取り組めるよう、発問や学習活動を工夫したり、授業で学習した内容について振り返りを丁寧に行ったりし、友達と関わりながら学習を進めるような授業を多く展開する。
- ・ 単元ごとにデジタルドリル等を活用した問題に取り組んだ上で、学期末や学年末のまとめの学習を充実させるなど、基本的な学習内容の定着を図る。

家庭での学習・生活等

- ・ 自分で計画を立てて家庭学習に取り組んだり、宿題をきちんとやり、期限までに提出したり、学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。
- ・ 夜は決まった時間に寝ている。
- ・ 学習時間が長く、スマートフォンや携帯電話、ゲームに費やす時間が短い。

⇒ 家庭学習の充実や基本的生活習慣の定着を図る。

- ・ 学校全体の共通理解のもとに学習計画の立て方、宿題の内容や出し方、評価・点検の仕方等を工夫する。
- ・ 家庭での過ごし方を振り返り計画を立てるなど、自分の生活習慣を見直す活動等を行う。
- ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 Ver.2」に基づく取組を推進する。

家の人との関わり等

- ・ 学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。
- ・ 家の方は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。

⇒ 家庭と連携・協働して認め励ます教育を推進する。

- ・ 学校の方針や取組、児童の成長などについて家庭に向けた情報発信を積極的に行うとともに、家庭と連携・協働しながら児童のよさを認め励まし、自己肯定感を育てる。

地域や社会への関心等

- ・ 本や新聞を読んでいる。
- ・ 社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。
- ・ 他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。

⇒ 新聞や社会の問題を教材とした学習活動を工夫するとともに、郷土への愛情と誇りをはぐくむ学習や、様々な地域の文化を理解する学習などの充実を図る。

- ・ 本やニュース記事等から得た情報、感想などを紹介し合う活動を取り入れる。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間等において、社会や身の回りの出来事の中から課題を見だし、調べたり考えたりする学習を行う。また、地域の教育資源、「道徳科地域教材」等を活用し、伝統を継承する人の生き方に触れる学習や、「宇都宮学」等の学習を通して、郷土の歴史、文化、伝統、産業、風土等について理解を深める指導を行う。

中 学 校

○ 正答率が高い生徒の方が、以下の点について肯定的に回答している傾向が見られる。

授業での学習等

- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・ 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。
- ・ 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。

⇒ 基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、言語活動の充実を図る。

- ・ 主体的に学習に取り組むことができるよう、実社会や実生活に関連した課題を取り上げたり、発問や学習活動の工夫により、課題解決の見通しをもちながら、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題にじっくり取り組む時間を確保したり、授業で学習した内容について振り返り、学んだことを次の学習や生活に生かそうとする態度を養ったりする。
- ・ 単元や学期ごとに復習する機会や、学年末のまとめの学習期間を設けるなどして、当該学年で身に付けるべき基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・ 自分の考えを記述し説明する活動を取り入れ、根拠の適切さや論理の展開などに注意しながら友達と交流し、内容について建設的に話し合うことができるよう指導する。

家庭での学習・生活等

- ・ テスト直しを行い、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。
- ・ 宿題はきちんとやり、期限までに提出している。
- ・ 学習時間が長く、スマートフォンや携帯電話、テレビや動画などの視聴に費やす時間が短い。

⇒ 家庭学習の習慣化を図る。

- ・ 発達の段階に応じた宿題や自主学習について検討し、全教職員の共通理解のもと推進する。特に、提出された宿題を適切に評価し、授業で活用したり、事後指導したりする。
- ・ 家庭学習の重点期間を設けたり、「宮っ子ダイアリー」の毎日の記録のページを活用したりして、家庭学習の時間を確保するとともにその内容等を点検し改善する。
- ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 Ver.2」に基づく取組を推進する。

家の人との関わり等

- ・ 学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。
- ・ 家の方は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。

⇒ 家庭と連携・協働して認め励ます教育を推進する。

- ・ 学校の方針や取組、生徒の成長などについて家庭に向けた情報発信を積極的に行うとともに、家庭と連携・協働しながら生徒のよさを認め励まし、自己肯定感を育てる。

地域や社会への関心等

- ・ 本や新聞を読んでいる。
- ・ 社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めたり、社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたりすることがある。
- ・ 他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。

⇒ 地域や社会に対する関心を高める指導を工夫する。

- ・ 本やニュース記事等から得た情報、感想などを紹介し合う活動を取り入れる。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間における「宇都宮学」等において、社会や身近な地域の問題等に目を向け、それらの事象を調べたり、解決するための方法を考えたりする学習を行う。

5. 国、県、市の学力調査における本市児童生徒の学力の状況

〔対象調査〕全国学力・学習状況調査（小6・中3の4月）、とちぎっ子学習状況調査（小4・小5・中2の4月）、宇都宮市学習内容定着度調査（小6・中3の12月）

小学校

1 全体的な状況

- 多くの学年・教科において、平均正答率が全国・県平均・参考値（※）を上回っており、おおむね良好であるが、国語など一部の学年で下回る状況が見られる。
- 基礎（知識・技能）・活用（思考・判断・表現）別では、主に小4国語の活用が県平均を下回っている。

※ 参考値は、宇都宮市学習内容定着度調査について、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率

2 各教科の状況（詳細は個別の報告書等を参照）

○：良好な状況 ●：課題

国 語

- 文章の内容を的確に読み取ること
⇒ 叙述をもとに文章の内容をとらえる問題〔全国 +1.5 P, 県小4 +2.3 P, 市 +2.5 P〕
- 文の構成についての理解
⇒ 主語と述語との関係をとらえる問題〔県小4 -3.1 P〕, 被修飾語を選ぶ問題〔県小5 -2.7 P〕
- 自分の考えを明確にして書くこと
⇒ 資料から読み取ったことをもとに、事実と区別しながら自分の意見をまとめ書く問題〔市 -3.9 P〕

社 会

- 沖縄県での自然環境を守る取組についての理解
⇒ 県庁の人の話と写真から読み取った情報を関連付けて、正しい取組を選択する問題〔市 +10.9 P〕
- さまざまなメディアの特徴についての理解
⇒ テレビ、ラジオ、新聞が伝える情報の種類について正しくまとめている表を選択する問題〔市 +8.9 P〕
- 歴史上の人物や史跡に着目して、事象をとらえ、歴史の展開について考えたことを文章で表現すること
⇒ 読み札と絵札をもとに、北条時宗と防塁の関係を見だし、文章で説明する問題〔市 -2.7 P〕

算 数

- 折れ線グラフや円グラフの値を読み取ること
⇒ 折れ線グラフを読み取り、変化の様子をとらえる問題〔県小5 +2.6 P〕, 円グラフを読み取る問題〔市 +5.0 P〕
- 測定値の平均と代表値についての理解
⇒ 答えが小数になる分離量の平均を求める問題〔市 +12.9 P〕, 中央値を求める問題〔市 +8.6 P〕
- 図形を構成する要素に着目して、面積や体積を求めたり図形の性質を考察したりすること
⇒ 高さが図形の外にある三角形の底辺と高さを読み取り、面積を求める問題〔市 -5.6 P〕, 球の性質を利用し長さを求める問題〔県小4 -2.3 P〕

理 科

- 実験結果から考察すること
⇒ 実験結果から、日によって月の形が変わって見える理由を考察する問題〔市 +4.4 P〕
- 「粒子」を柱とする領域についての理解
⇒ 空気と金属を温めたときの体積の変化を問う問題〔県小5 +2.1 P〕, うすい塩酸に溶けるものについての理解を問う問題〔市 +25.9 P〕
- 生物の構造と機能とを関係付けて考察すること
⇒ ダイコンを保存するために、茎や葉を切る理由を記述する問題〔市 -11.1 P〕

※ 表中の〔± P〕は、全国学力・学習状況調査については全国平均、とちぎっ子学習状況調査については県平均、宇都宮市学習内容定着度調査については参考値との差。

中学校

1 全体的な状況

- すべての学年・教科の平均正答率が、全国・県平均または参考値（※）を上回っており、良好な状況である。
- 基礎（基礎・基本）・活用（思考・判断・表現）別では、ほとんどの学年・教科において、県平均または参考値を上回っている。

※ 参考値は、宇都宮市学習内容定着度調査について、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率

2 各教科の状況（詳細は個別の報告書等を参照）

○：良好な状況 ●：課題

国 語

○ 我が国の言語文化についての理解

⇒ 行書の書き方を選ぶ問題〔全国 +2.8 P〕, 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題〔県 +4.2 P〕

○ 文章と図表との関係や文章の構成, 論理の展開について考察すること

⇒ 図の役割や文章の構成について適切な説明を選ぶ問題〔全国 +3.1 P, 市 +6.5 P〕

● 根拠を明確にして書くこと

⇒ 資料から読み取ったことを踏まえて, 自分の考えを書く問題〔県 -4.0 P〕

社 会

○ 習得した知識や技能を活用して考察したり, 表現したりすること

⇒ 基礎的・基本的な知識や技能を活用する問題〔県 +3.4 P, 市 +9.9 P〕

○ 問われている内容を理解した上で, 文章で適切に表現すること

⇒ 資料から読み取った情報を関連付けて考察したことを, 文章で説明する問題〔県 +3.9 P, 市 +10.3 P〕

● 基礎的な知識の定着

⇒ 地域の活性化についての理解を問う問題〔市 -4.9 P〕, 資料をもとに, 開国による日本社会への影響についての理解を問う問題〔市 -1.6 P〕, 社会権の種類についての理解を問う問題〔市 -4.7 P〕

数 学

○ 問題場面から一次方程式や連立方程式を立式すること

⇒ 一次方程式の立式問題〔県 +6.8 P〕, 連立方程式を立式し解を求め, 説明する問題〔市 +11.5 P〕

○ 平行移動や回転移動についての理解

⇒ 平行移動や回転移動した図形に関する問題〔全国 +2.8 P, 県 +2.5 P, 市 +17.4 P〕

● 平方根を含む計算や, 式の展開及び乗法公式の活用

⇒ 平方の形に変形し二次方程式を解く問題〔市 -8.4 P〕, 乗法公式を使って式を簡単にする問題〔市 -4.1 P〕

理 科

○ 生物の体のつくりと働きについて考察すること

⇒ 肺炎になると息苦しくなる理由を分析して書く問題〔市 +12.5 P〕

○ 実験器具の使い方についての理解

⇒ 気体の集め方の理解を問う問題〔県 +3.0 P〕, 物質の体積をメスシリンダーを使って正しく測る問題〔市 +7.9 P〕

● 基礎的な知識の定着

⇒ 光の入射角についての理解を問う問題〔市 -11.0 P〕, 磁力線についての理解を問う問題〔市 -19.3 P〕

英 語

○ 対話の内容を聞き取り, その意味を理解して適切に答えること

⇒ 対話の内容を聞き取り, 適切に応答する問題〔県 +3.1 P, 市 +9.4 P〕

○ まとまりのある英文を読み, 必要な情報を把握すること

⇒ 対話の流れと資料から, 必要な情報を読み取る問題〔県 +3.2 P, 市 +11.5 P〕

● 文法事項や言語の働きなどを理解し, 正確に書くこと

⇒ 助動詞を用いた否定文を書く問題〔県 -4.2 P〕, 比較級を用いて正確な語順で書く問題〔市 -1.6 P〕

※ 表中の〔± P〕は, 全国学力・学習状況調査については全国平均, とちぎっ子学習状況調査については県平均, 宇都宮市学習内容定着度調査については参考値との差。

